

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	
施策の体系(柱)	1	農地や農業用施設などの整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の集積・集約、耕作放棄地解消 ・健全農地確保に向けた鳥獣・病害虫対策強化 ・家畜伝染病予防に向けた防疫体制強化 ・生産性向上に向けた、ほ場、用水路、取水口、農道の基盤整備 ・水路を含む農業用施設の維持・長寿命化支援 ・農地・農業用施設の被災への備え、速やかな復旧体制構築
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な営農を支える農業基盤、農業用施設等の整備や維持管理の実施による農業生産性の向上 ・意欲ある担い手への農地の集積・集約による耕作放棄地の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	農地費	農業用施設を管理し施設の有効活用・長寿命化を図る	3,857	農政課	A	
2	土地改良事業助成金	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う	13,797	農政課	B	●
3	多面的機能支払交付金事業	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助	103,425	農政課	B	●
4	県営かんがい排水事業負担金	県営下井手及び上井手改修工事に伴う負担金	0	農政課	A	
5	畜産業費	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	712	農政課	A	
6	鳥獣害防止対策事業	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気柵等の設置費用補助	1,967	農政課	A	
7	有害鳥獣捕獲事業	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	3,709	農政課	A	
8	農地管理費	農業振興地域整備計画に基づく農振農用地の適正管理	135	農政課	A	
9	農業委員会費	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進	12,827	農業委員会	B	●
10	矢護川地区 経営体育成基盤整備事業	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施	16,183	農政課	A	●
11	農地中間管理機構事業	意欲ある担い手に農地を集積・集約化するため、農地中間管理機構を通じた農地の貸借を推進	23,191	農政課	A	●
12	人・農地問題解決加速化支援事業	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「人・農地プラン」の見直し	335	農政課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	8	4	0	0	12		A
合計点数	800	300	0	0	1100	91.7	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	多面的機能支払交付金事業						解決した課題	広域化（29組織を統一）したことにより、交付金を効率的に活用できる体制となった。
事業概要	農地の多面的な機能を維持するために各活動組織が行う維持活動等への補助						残された課題	高齢化により実作業に支障が出てきている組織もある。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		103,425			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
活動組織数	組織	1	/	/	/	1		
								ICT等を活用した機械を導入し、高齢化による作業効率の低減を防止していく必要がある。

事業名	農地中間管理機構事業						解決した課題	農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約化に取り組んだ。岩坂・中島地区及び矢護川・真木地区へ機構集積協力金の交付を行った。
事業概要	意欲ある担い手に農地を集積・集約化するため、農地中間管理機構を通じた農地の貸借を推進						残された課題	今後、圃場整備予定の地域において、地元との連携・協議が必要。また、令和7年度より農地の貸借は全て中間管理機構を活用するため、役場組織の体制について検討が必要。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		23,191			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農地バンク貸付面積	ha/年	72.8	/	/	/	20		
								農業の担い手となる認定農業者や集落営農法人に対して、農地中間管理事業による農地集積・集約化の更なる推進を図る。

事業名	矢護川地区経営体育成基盤整備事業						解決した課題	矢護川地区全体の計画のうち、1つ目の「矢護川・真木地区」の事業が事業採択の最終段階に入った。
事業概要	県営圃場整備事業（農地中間管理機構関連農地整備事業）の実施						残された課題	矢護川地区全体計画では、残りの3地区である「片俣地区」「御願所地区」「下中地区」が残っており、100%同意に至っていない。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		16,183			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
圃場整備面積	ha	0	/	/	/	100		
								事業採択を受ける予定の「矢護川・真木地区」については、工事完了まで地区と丁寧な伴走を行っていき、残り3地区については、地元説明会を繰り返し行い、丁寧に同意率を高めて事業採択を受ける準備を進める。

事業名	土地改良事業助成金						解決した課題	農業用水管の修繕やスライドゲートの更新により、農業用施設の長寿命化を図ることができた。
事業概要	地元が土地改良施設の改修等を行う際の70%助成を行う						残された課題	多面的機能支払交付金事業の活動区域に入っていない地区の土地改良事業を本事業でどれだけカバーできるか検討する必要がある。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		13,797			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業費補助	件	9	/	/	/	2		
								多面的機能支払交付金事業のエリアを見直すことにより、本事業の縮小を図っていく必要がある。

事業名	農業委員会費						解決した課題	基盤強化促進法（相対による利用権設定、中間管理機構を活用した一括方式）での貸借により担い手への集積率は上昇した。
事業概要	耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約化などの農地の保全・有効活用を推進						残された課題	耕作条件の低い圃場（狭小、不正形、大型機械利用困難、鳥獣害）での荒廃農地の増加。農業従事者数の減少及び担い手育成。
担当課	農業委員会	R4事業費 (千円)		12,827			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
荒廃農地解消率	%	2.5	/	/	/	8.5		
								利用状況調査後の意向調査及び非農地判断。比較的荒廃程度が低い農地を担い手への優先的あつせん。

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	A
施策の体系(柱)	2	多様な担い手の育成・仕組みづくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業法人設立や機能強化支援による営農体制確立 ・ ICTを活用したスマート農業や作業委託等の支援 ・ 農業の安定的な経営を支える総合的な支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業を支える人や組織等の支援による営農体制の確立及び担い手の確保と育成 ・ 人・農地プランや認定農業者制度を活用し、農業の安定的な経営を支える仕組みを構築する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	担い手育成総合支援事業	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業	28,991	農政課	A	●
2	農業指導費（認定農業者協議会）	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進	247	農政課	B	●
3	農業制度資金利子補給事業	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給	671	農政課	A	●
4	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「人・農地プラン」の見直し	335	農政課	B	●
5	鳥獣害防止対策事業（再掲）	鳥獣害により農作物に被害が及ばないよう電気柵等の設置費用補助	1,967	農政課	A	
6	有害鳥獣捕獲事業（再掲）	有害鳥獣による農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊・大津町広域協定運営委員会に対する助成	3,709	農政課	A	
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	4	2	0	0	6		
合計点数	400	150	0	0	550	91.7	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	担い手育成総合支援事業						解決した課題	新たに1名が認定新規就農者、11名が認定農業者となった。要件を満たした対象者は、各種補助事業を活用し、機械導入・施設整備・家畜導入等に取組むことができた。また、町の特産であるかんしょを守るため、基腐病対策への補助を行った。
事業概要	地域農業の担い手に対する支援や各種交付金事業						残された課題	高齢化による認定農業者の更新をされない人が多く、地域の新たな担い手を確保することが難しい。かんしょ基腐病については、根本的な解決方法は示されておらず、消毒等の対策を継続する必要がある。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		28,991 千円			今後の施策展開の方向性	新たな農業担い手の発掘と集落営農組織の法人化を推進する。 かんしょ基腐病対策への補助を継続して行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	/	/	/	178		

事業名	農業制度資金利子補給事業						解決した課題	12件の申請に対して支給することができた。
事業概要	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金に対し、各機関が行う利子補給						残された課題	新規就農者や認定農業者等が規模拡大に取り組めるように農業資金制度の周知が必要となる。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		671 千円			今後の施策展開の方向性	県・町・関係機関が定める要綱等に基づき貸付けされた農業制度資金のため、今後も要綱等に基づいた運営を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
農業の中心となる経営体	経営体	188	/	/	/	178		

事業名	人・農地問題解決加速化支援事業（再掲）						解決した課題	令和2年度に策定した「実質化した人・農地プラン」に基づき、人・農地プラン検討会を実施した。
事業概要	地域の話合いを基本に地域の中心となる担い手を決定・育成し、農地集積による経営の大規模化・効率化を図るための「人・農地プラン」の見直し						残された課題	農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、令和7年3月31日までに「地域計画」を策定する必要があり、今後の手続きについて情報収集が必要。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		335 千円			今後の施策展開の方向性	地域計画について、令和5年度及び6年度に情報収集、令和7年3月31日までに策定を行う。町農業委員会、県、関係団体、農業者の方々と連携し、推進していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
プラン策定地区数	地区	9	/	/	/	9		

事業名	農業指導費（認定農業者協議会）						解決した課題	先進地研修や有害鳥獣対策研修等の活動により、経営改善計画の目標達成に向けた取組を行うことができた。（コロナの影響で一部研修が中止となり、103千円減額）。
事業概要	今後の地域農業を担う認定農業者の育成と連携を推進						残された課題	大津町認定農業者協議会として独自事業の発案が必要。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		247 千円			今後の施策展開の方向性	関係機関連携のもと、農業の担い手の中心となる認定農業者の育成と更なる発展を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
協議会会員数	名	122	/	/	/	130		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	B
施策の体系(柱)	3	農産物のブランド化と流通の促進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 農産物ブランドの確立、PR・販路開拓推進 からいも（甘藷）の更なる付加価値創出に向けた取り組み推進 優良牛の導入や生産基盤拡充等の補助事業推進 地産地消の推進による安定した販路開拓
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ブランド確立を通じた認知度向上と差別化による消費拡大 町内農業団体と連携した地産地消の推進による町農畜産物の振興と安定した販路開拓

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	経営所得安定対策推進事業	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助	4,572	農政課	A	●
2	畜産振興対策事業	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成	5,070	農政課	B	●
3	農業指導費（農産振興対策事業）	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証	1,730	農政課	B	●
4	畜産業費（再掲）	鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が万一発生した場合の初動防疫体制の事前整備	712	農政課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	畜産振興対策事業						解決した課題	素牛保留事業により地域ブランド化の一層の推進と、導入補助による畜産経営の安定化を図ることができた。
事業概要	優良系統種牛豚導入・保留への助成 害虫駆除・畜舎消毒等、環境対策への助成						残された課題	町農畜産物のPR・消費拡大・地産地消の推進に向け、農業関係団体の持つブランドとの協力を強化していく。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		5,070			今後の施策展開の方向性	今後は、菊池管内ブランド牛等の確立を目指した事業の推進に向けて、関係機関との協議を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
菊池管内ブランドの確立	品目	0	/	/	/	1		

事業名	経営所得安定対策推進事業						解決した課題	大津町農業再生協議会を中心に経営所得安定対策及び産地交付金等を活用し戦略作物の生産振興及び地域農業の振興を図るため、作付け確認等現地対応を行った。
事業概要	国の施策のもと、米の生産数量目標調整のため、JAと組織する「大津町農業再生協議会」の推進費補助						残された課題	高齢化による規模縮小等により、集落営農法人への負担が大きくなってきているが、集落営農法人のオペレーター等も年々高齢化が進んでいる。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		4,572			今後の施策展開の方向性	当面は、水田活用の直接支払交付金による戦略作物を中心に取り組む方向性だが、国では見直しも検討されているため、今後も情報収集を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
戦略作物作付面積	ha	981	/	/	/	950		

事業名	農業指導費（農産振興対策事業）						解決した課題	郵便局と連携した販売等により消費拡大を図った。また、町の特産品である甘藷の品質保持や基腐病予防のための取組を行った。（コロナの影響でイベントを一部中止し、870千円減額）。
事業概要	JA菊池の各生産部会等を活用し、流通対策、持続的農業対策等の事業効果を検証						残された課題	高齢化に伴う離農や規模縮小への対策を検討する必要がある。 新たな取組みの検討。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		1,730			今後の施策展開の方向性	安心・安全な農作物生産の支援と町独自ブランド確立による農家所得向上を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町独自ブランドの確立	品目	0	/	/	/	1		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	1	農林業の振興	B
施策の体系(柱)	4	林業基盤の整備と適正な維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画に基づく計画的な整備や維持管理 ・木材需要の拡大支援、担い手の確保・育成 ・森林整備や林内道路などの生産基盤整備 ・森林保全に対する町民意識醸成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の維持管理や活用のための支援等の実施による適正な森林の保全 ・森林とのふれあい・憩いの場の整備による森林の保全に対する町民の意識の醸成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	林業総務費	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金	2,968	農政課	B	●
2	町有林保育事業	下刈、間伐、枝打ち、植栽等	32,395	農政課	B	●
3	私有林間伐促進事業	私有林間伐補助	1,020	農政課	A	
4	森林公園整備事業	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全	1,173	農政課	A	●
5	林業振興費	林地台帳管理システム保守委託	250	農政課	B	
6	熊本県特定鳥獣適正管理事業	ニホンジカの捕獲、鳥獣処分手数料	93	農政課	B	
7	森林管理意向調査事業	森林管理意向調査	2,000	農政課	B	
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	5	0	0	7		B
合計点数	200	375	0	0	575	82.1	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	町有林保育事業						解決した課題	下刈や間伐等の保育事業を行うことにより森林の持つ多面的機能の維持ができた。
事業概要	下刈、間伐、枝打ち、植栽等						残された課題	戦後植林された針葉樹が適正伐期を迎えているが、木材価格の低迷のため採算がとれない状況のままである。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		32,395			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
下刈・間伐面積	ha	74	/	/	/	75		

事業名	林業総務費						解決した課題	水源涵養や山地災害防止等、多くの公益的機能を持つ森林をみんなの財産として守り育てる意識醸成が少しずつではあるが図られている。
事業概要	町有林保全のための巡視費用、保険料、負担金						残された課題	全国的な木材価格の低迷により林業自体の活性化につなげていかない。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		2,968			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
巡視回数	回	193	/	/	/	192		

事業名	森林公園整備事業						解決した課題	森林公園内の作業道の一部を整備することができた。
事業概要	森林公園トイレ清掃及び森林公園内道路改修等施設保全						残された課題	町民の公園への認知度が低い状況である。
担当課	農政課	R4事業費 (千円)		1,173			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
森林公園内整備	m	38	/	/	/	30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 A
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	1	企業誘致の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町のアドバンテージを生かした戦略的企業誘致 ・町内産業構造の多様化、工業活性化 ・誘致候補先企業への迅速かつ的確なプロモーションやセールス
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進による新たな企業進出や雇用の拡大 ・大津町の特性に応じた新たな成長分野の企業の進出の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	企業誘致推進事業	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	229,933	企業振興課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価 A
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	企業誘致推進事業						解決した課題	台湾半導体大手メーカーTSMCの進出に伴い、関連企業等の立地相談が急増しているため、民間事業者（金融機関・不動産関係等）との連携を強化するため（企業誘致パートナー制度）の運用を開始した。
事業概要	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。						残された課題	企業の進出相談に伴い、現在は民間の土地を紹介するに留まっているため、早急な工業団地整備を進めていく必要がある。
担当課	企業振興課	R4事業費 (千円)		229,933			今後の施策展開の方向性	民間事業者（金融機関・不動産関係等）との連携を強化し、売買可能な民地の情報把握・情報提供を行いながら企業誘致を進行するとともに、町の工業団地整備を早期に進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
新規企業立地数	件/年	9	/	/	/	4		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	A
施策の体系(柱)	2	工業基盤の整備および維持管理	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道の適切な維持管理、工業団地内インフラ環境整備推進 工場用地の確保に向けた用地の調査・分析 産業道路などの環境整備推進 必要に応じた用途指定の調整や基盤整備推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 新規工業団地の早期整備及び企業への売却 新規工業団地周辺のインフラ整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	工業団地整備事業	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	3,145	企業振興課	A	●
2	大津町工業用水道事業	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給	72,263	工業用水道課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	大津町工業用水道事業						解決した課題	給水開始から30年以上経過しているため、施設の老朽化が不安視されていたが、中長期的な更新計画を作成し受電設備の更新に取り組むことができた。
事業概要	中核工業団地内における、工業用水道の安定供給						残された課題	現在6社を対象にした工業用水道の安定供給のため、更新計画をもとに耐用年数が経過し老朽化した施設の更新を進める必要がある。
担当課	工業用水道課	R4事業費 (千円)		72,263			今後の施策展開の方向性	契約水量は、景気の変動などにより左右されるため、企業動向を注視しながら対応していく方針である。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
工業用水の水質検査項目の基準値以内数	項目	10	/	/	/	10		

事業名	工業団地整備事業						解決した課題	工業団地の適地選定を行い、最適地を1箇所選定。工業団地基本計画策定業務にも着手できた。
事業概要	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。						残された課題	R9年度分譲開始に向け、用地交渉を始め、団地整備にかかる諸手続き、インフラ整備等の開発に伴う多額の財源確保が必要となる。また、1日でも早く整備完了できるようにスピードアップを図る必要もある。
担当課	企業振興課	R4事業費 (千円)		3,145			今後の施策展開の方向性	R5年度は、地権者説明、住民説明会を経て、用地交渉、基本設計や測量等に着手予定。R6年度は実施設計、R7～8年度に造成等の工事着手できるよう進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
購入した土地面積	ha	0	/	/	/	10		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	2	工業の振興	
施策の体系(柱)	3	人材の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場企業と被雇用者を結び取り組み推進 ・ Iターン、Uターン等に向けた情報発信、マッチング推進 ・ 若年層の情報認知や興味関心を高める周知・啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層の地元就職率、定着率の向上 ・ Iターン、Uターン等による県外からの人材確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	雇用確保推進事業	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。	576	企業振興課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	雇用確保推進事業						解決した課題	コロナ禍の中でも、大津町企業連絡協議会主催では、直接対面による企業ガイダンスを実施し、地元企業の魅力や仕事内容、企業が求める人材などの紹介を行った。また、企業向けに人材確保に関する研修会を始め、学校の進路担当者との意見交換や、工場見学会を実施するなど、若者への地元就職のメリットなどをアピールできた。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。						残された課題	企業が求める人材と就職を希望する学生とのギャップを精査し、確実な人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、雇用につなげる事業を更に展開する必要がある。
担当課	企業振興課	R4事業費 (千円)		576			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率	%	19.3	/	/	/	20	高校生の時期だけではなく、大学・専門学校等に通う学生等にも、地元企業をアピールする機会を設けるなど、継続的に事業を展開する。	

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	3	商業の振興	B
施策の体系(柱)	1	中心市街地の機能強化と周辺地域への誘導	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源と食のコラボレーション等の施策検討 肥後大津駅や周辺商業施設に車でアクセスしやすい環境整備 大型ショッピングモール誘致推進 シティプロモーションによる魅力の外部向け情報発信推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 町商工会や明日の観光大津を創る会、肥後おおづ観光協会などとの連携による商店街の活性化や観光の振興 宿場町としての景観の創出により訪れる人の増加

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	9,000	商業観光課	B	●
2	店舗改装等利子補給事業	改装等のために融資を受けた中小企業借入金の利子を援助する。	54	商業観光課	B	
3	たばこ販売協同組合助成金	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し経営の安定を図るための事業に補助を行う。	200	商業観光課	B	●
4	企業誘致推進事業（再掲）	企業誘致は、本町の工業振興はもとより、町発展のための大きな役割を担っている。そのために、新たな企業の誘致や、町内企業が安定して操業を行えるように側面からの支援を行っている。	229,933	企業振興課	A	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	3	0	0	4		
合計点数	100	225	0	0	325	81.3	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金						解決した課題	これまでの各種相談支援に加え、新型コロナウイルス関連事業についても、商工業者に寄り添った支援活動ができた。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		9,000 千円			今後の施策展開の方向性	町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
経営相談件数	件/年	1,431	/	/	/	1,500		

事業名	たばこ販売協同組合助成金						解決した課題	美化活動や未成年者の喫煙防止活動等とおし、喫煙者のマナー向上につながった。
事業概要	たばこ販売協同組合の活動支援をすることで、たばこ販売拡大を目指し経営の安定を図るための事業に補助を行う。						残された課題	健康面や反喫煙により、たばこ販売は厳しい状況が続くと考えられる。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		200 千円			今後の施策展開の方向性	より良い喫煙環境を推進し、販売業者の経営安定を図るとともに、たばこ税の増収につなげる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
たばこ税納税額	千円/年	381,361	/	/	/	334,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)		千円			今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	3	商業の振興	
施策の体系(柱)	2	地場産業の経営支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ITやICTを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進 ・地場企業への愛着等を養う周知啓発活動
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・人材マッチング検討、大津町商工会の機能支援 ・ITやICTを活用した事業間連携促進 ・既存事業の付加価値創出、新規ビジネス創出推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	商工会助成金（再掲）	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。	9,000	商業観光課	B	●
2	雇用確保推進事業（再掲）	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。	576	企業振興課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2	75	B
合計点数	0	150	0	0	150		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	商工会助成金（再掲）						解決した課題	これまでの各種相談支援に加え、新型コロナウイルス関連事業についても、商工業者に寄り添った支援活動ができた。
事業概要	町商工会に助成金を交付し、経営指導や講習会などを実施することにより商工業者の事業発展や地域発展を図る。						残された課題	新規加入がある一方で脱会する商工業者もいる。また、新型コロナウイルス感染症関連の相談も多く、支援の充実を図る必要がある。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		9,000 千円			今後の施策展開の方向性	町の経済の活性化を図るには、商工業者の振興が不可欠であり、各種相談や講習会等を実施する大津町商工会へ支援を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
経営相談件数	件/年	1,431	/	/	/	1,500		

事業名	雇用確保推進事業（再掲）						解決した課題	コロナ禍の中でも、大津町企業連絡協議会主催では、直接対面による企業ガイダンスを実施し、地元企業の魅力や仕事内容、企業が求める人材などの紹介を行った。また、企業向けに人材確保に関する研修会を始め、学校の進路担当者との意見交換や、工場見学会を実施するなど、若者への地元就職のメリットなどをアピールできた。
事業概要	各企業では人手不足が深刻化し、特に若い働き手が不足している。新卒者の県外流出や数年で離職するケースもあり、人材確保が課題となる中、大津町企業連絡協議会活動において、地元企業の魅力を発信する取組みなどを行う。						残された課題	企業が求める人材と就職を希望する学生とのギャップを精査し、確実な人材確保につなげていくために、学校や企業などと意見交換等を行いながら、雇用につなげる事業を更に展開する必要がある。
担当課	企業振興課	R4事業費 (千円)		576 千円			今後の施策展開の方向性	高校生の時期だけではなく、大学・専門学校等に通う学生等にも、地元企業をアピールする機会を設けるなど、継続的に事業を展開する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内高校における町内企業就職率	%	19.3	/	/	/	20		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価 B
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	1	観光資源の磨き上げおよびPR強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史文化、自然などの資源を活かした動線づくり、更なる魅力化 ・ 肥後大津駅周辺から町全体へ向けた賑わいづくり ・ 民間企業との連携、マーケティング手法活用推進、情報発信強化 ・ 町のファンづくりとICTを活用した広報戦略
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥後大津（阿蘇くまもと空港）駅周辺において、ハード・ソフト事業を実施することによる商店街の活性化 ・ ふるさと寄附による町内事業者の活性化及び町外への魅力発信、関係人口の創出

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地方創生事業	肥後大津駅周辺地域活性化事業に取り組む実行委員会に補助金を交付し事業実施。企業版ふるさと納税のPR、柔軟かつ最大限に寄附金を活用できるような基金を創設。	8,156	総合政策課	A	●
2	ふるさと寄附事業	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。	601,698	総合政策課	A	●
3	観光振興事業	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,193	商業観光課	B	●
4	日本一のつつじの里づくり事業	つつじ苗を自治会などに無料配布（道路沿線等の公共施設に植栽）。また、花苗は団体（半額負担）に春と秋に配布して花いっぱい運動を展開している。	425	商業観光課	B	
5	地蔵祭補助金	大津町地蔵祭実行委員会の開催する大津地蔵祭の事業費に対し補助を行い、地域の活性化を図る。	2,600	商業観光課	B	
6	明日の観光大津を創る会助成金	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。	6,000	商業観光課	B	●
7	大津町ビジターセンター管理費	ビジターセンターの施設管理運営を行う。	14,605	商業観光課	B	●
8	大津町交流センター管理費	交流センターの施設管理、運営を行い、町民の生活向上及び地域の活性化を図る。	5,809	商業観光課	B	
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	6	0	0			
合計点数	200	450	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	ふるさと寄附事業						解決した課題	新たなポータルサイトと契約を行い、受入窓口を拡大した。
事業概要	ふるさと寄附を募り、寄附者に対しお礼品を送付する。また、随時新規お礼品の開拓を行う。						残された課題	寄附額の増額に伴う事務負担の増加。返礼品提供事業者（町内業者）の更なる開拓。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		601,698 千円			今後の施策展開の方向性	熊本県共通返礼品の取扱い開始するなど、返礼品登録数の拡大を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ふるさと納税寄附額・EC販売額	千円/年	1,032,454	/	/	/	800,000		

事業名	大津町ビジターセンター管理費						解決した課題	利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理ができた。また、問い合わせ等に対しても適切に対応できた。
事業概要	ビジターセンターの施設管理運営を行う。						残された課題	観光拠点としての利用法を検討する必要がある。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		14,605 千円			今後の施策展開の方向性	肥後大津駅南口を観光の拠点として、今後の活用方法を検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
来館者数	人	54,228	/	/	/	60,000		

事業名	観光振興事業						解決した課題	観光協会で観光情報の発信やホームページのリニューアル、ふるさと納税返礼品の準備ができた。
事業概要	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。						残された課題	持続可能な事業展開を図るため、体験型観光の創出やスポーツコンベンションの推進、ふるさと納税返礼品の開発などを進めていく必要がある。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		11,193 千円			今後の施策展開の方向性	肥後おおづスポーツ文化コミッションと連携しながら、体験型観光の創出、スポーツコンベンションの推進など、経済効果につながる事業を展開し、地域の活性化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光客入込客数	人	2,173,545	/	/	/	1,600,000		

事業名	地方創生事業						解決した課題	コロナ禍ではあるが、駅周辺地域活性化に向けたイベントにより地域に元気を与えることのできる事業を実施した。企業版ふるさと納税を柔軟かつ最大限に活用することができるよう基金条例を制定した。
事業概要	肥後大津駅周辺地域活性化事業に取り組む実行委員会に補助金を交付し事業実施。企業版ふるさと納税のPR、柔軟かつ最大限に寄附金を活用できるよう基金を創設。						残された課題	総合戦略に基づく具体的施策・事業の取りまとめと進行管理。振興総合計画と総合戦略の進行管理における連動性の検討。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		8,156 千円			今後の施策展開の方向性	第2期大津町まち・ひと・しごと総合戦略に基づいた施策・事業の進行管理を行い目標指標の達成を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町の人口	人	35,843	/	/	/	36,500		

事業名	明日の観光大津を創る会助成金						解決した課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、つつじ祭りは中止となったがからいもフェスティバルは開催することができた。
事業概要	イベントの強化や新たな観光資源の創出を図り、交流人口を増やすための事業に補助を行う。						残された課題	会員の高齢化による組織の見直しや、イベント経費の拡大による事業の見直しが必要。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		6,000 千円			今後の施策展開の方向性	「ふれあいの中のふるさとづくり」をもとに、交流人口の増加と地域の活性化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光入込客数	人	2,173,545	/	/	/	1,600,000		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	2	滞在型・体験型観光の振興	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅大津やH S R九州等の民間企業との連携・協力体制強化 農山村生活、伝統的な武道や文化体験、ヘルスツーリズム等の展開 町内目玉施設の活用強化 各種団体、近隣市町村との連携、より合理的な協力体制構築推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 町商工会や肥後おおづ観光協会等との連携と地域おこし協力隊による地域資源の掘起しや新たな観光資源の創出 農業体験や自然と触れ合える体験型観光など、地域特性を活かした観光振興による交流人口（観光客）の拡大

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	観光振興事業（再掲）	特産品を広くPRすると共に、地域の特性を活かした観光振興により地域経済の活性化を図る。	11,193	商業観光課	B	
2	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。	9,684	商業観光課	B	●
3	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	3,572	商業観光課	B	●
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	3	0	0	3		B
合計点数	0	225	0	0	225	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域おこし協力隊事業						解決した課題	新たに1人の協力隊を採用し、町の観光の情報発信の強化が図られた。
事業概要	地域おこし協力隊の活動に対して支援を行う。						残された課題	体験型観光商品のモニター体験会（上井手散歩）を実施したが、商品化には至らなかった。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		9,684			今後の施策展開の方向性	肥後おおづスポーツ文化コミッションや肥後おおづ観光協会と連携を図りながら、地域の特性を活かした新たな観光資源を開発し、持続可能な観光事業を進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
イベント開催数	回	2	/	/	/	10		

事業名	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金						解決した課題	大会誘致の他、ワンパクの森やモルック町民大会、JRよかばいウォーキングを自主開催することができた。
事業概要	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。						残された課題	体験型観光商品の販売を開始できたが実績が上がっていないため、商品のブラッシュアップや周知方法の検討が必要。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		3,572			今後の施策展開の方向性	体験型観光商品を販売及びスポーツ大会、合宿等を誘致し、地域経済の活性化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
体験型プログラム参加者数	人	612	/	/	/	200		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	1	「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち	施策評価
基本施策	4	観光の振興	
施策の体系(柱)	3	スポーツコンベンションの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致、施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致 ・農業、畜産業、商工業、宿泊業、飲食業等との連携体制構築 ・「スポーツの森駅」の新設や近隣への商業施設等誘致検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・大型大会誘致や施設を活かしたスポーツコンベンション推進 ・スポーツ合宿やキャンプの誘致

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	肥後おおづスポーツ文化コミッション補助金 (再掲)	スポーツ、文化による交流人口の増と地域経済の活性化を図るための事業を補助する。	3,572	商業観光課	B	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		
合計点数	0	75	0	0	75	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	A
施策の体系(柱)	1	健康づくりの推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用した健康づくり事業実施 運動の定着と民間企業と連携した健康運動事業実施 ライフステージに応じた食育指導や健康教室等推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 健康アプリを活用して健康に対する無関心層も含めた住民へのアプローチを行い、運動習慣を定着化。 (株)ルネサンスが培ってきた民間企業としてのノウハウを生かし、生活習慣としての運動の定着化と注野の拡大を推進。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	健康増進事業	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。	63,984	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	A

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	健康増進事業						解決した課題	R4年度もコロナ禍での実施であったが、感染対策を行いながら集団健診を実施することができ、特定健診受診率は43.5%（過去5年で最高水準）となった。
事業概要	がん検診や健診等における指導、住民の健康づくりに関する事業。						残された課題	コロナ禍前には減少傾向にあったⅡ度高血圧の人が、緊急事態宣言後は急激に増加している傾向にある。また、Ⅲ度高血圧の人はH31年度と比較して、2倍以上に増加している。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		63,984			今後の施策展開の方向性	運動習慣の定着と裾野の拡大に向け、(株)ネサンスが培った企業のノウハウを生かし、子どもから高齢者までの健康増進に向けた事業を行う。また、健康アプリを活用し、健康に対する無関心層へのアプローチも行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
運動習慣の割合	%	39.1	/	/	/	50.0		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	2	保健予防の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムに重点を置いた乳幼児健診等保健指導実施 電子申請による健診等申込体制整備 電話や訪問による保健指導等強化 生活習慣病重症化予防、生活習慣改善に向けた特定保健指導推進 各種予防接種、予防啓発活動 「こころの健康」の啓発、相談しやすい体制整備
想定する事業の成果	・菊池郡市医師会等に定期と任意の予防接種委託をすることで、住民が必要な時期にワクチンを接種できる体制を整備。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	予防接種事業	定期、任意の予防接種について、医療機関委託を行い、感染症予防のための予防接種を行う。	137,895	健康保険課	A	●
2	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ等の発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるように体制を整える事業。	30	健康保険課	A	
3	自殺対策推進事業	こころの健康に関する相談対応や広報周知を実施し、自殺予防を図る事業。	901	健康保険課	A	
4	食品監視活動補助金	食品衛生に関する指導等活動費に対し助成を行う。	80	健康保険課	A	
5	骨髄移植ドナー助成支援事業費補助金	骨髄・末梢血管細胞の提供をする人（ドナー）に対し、経済的負担を軽減するため、助成を行う。	0	健康保険課	A	
6	保健衛生事業	医師の協力を得ながら、母子保健法に基づく乳幼児健診や、予防接種法に基づく予防接種等の保健事業を実施する	6,161	健康保険課	A	
7	母子保健事業	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	87,699	健康保険課	A	●
8	養育医療事業	身体の発育が未熟なまま出生し入院が必要な未熟児に対し、指定医療機関で養育に必要な医療給付を行う（母子保健法第20条）	5,535	健康保険課	A	
9	新型コロナウイルスワクチン接種事業	接種希望者全員が接種ができるよう、接種券発行、相談・予約体制など接種体制整備を行う。	166,104	新型コロナウイルス感染症対策室	A	●
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	9	0	0	0	9		
合計点数	900	0	0	0	900	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業						解決した課題	年度途中で接種対象年齢が生後6か月以上に引き下げられ、前年度から継続して町内医療機関協力のもとで円滑にワクチン接種事業を行うことができ感染予防につながった。
事業概要	接種希望者全員が接種ができるよう、接種券発行、相談・予約体制など接種体制整備を行う。						残された課題	令和4年度は第7波、第8波で感染者が拡大したが、ワクチン接種後の副反応の警戒もあるのか、若い世代のワクチン接種率が低下。
担当課	新型コロナウイルス感染症対策室	R4事業費 (千円)		166,104 千円			今後の施策展開の方向性	令和5年5月8日から感染症法上の類別が季節性インフルエンザと同等の5類に移行されたが、ワクチン接種の継続と感染予防啓発を継続する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
60歳以上高齢者の感染率	%	24.4	/	/	/	20.0		

事業名	予防接種事業						解決した課題	コロナ禍であったが、予防接種の必要性を周知啓発したことにより、MRワクチンの接種率が97.0%から98.6%に向上した。
事業概要	定期、任意の予防接種について、医療機関委託を行い、感染症予防のための予防接種を行う。						残された課題	乳幼児期の予防接種は接種率も高いが、学童期以上の接種率が低い状況。感染症の蔓延を防ぐためにも、予防接種の正しい理解と意義について理解を促す取り組みが必要。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		137,895 千円			今後の施策展開の方向性	必要な時期にワクチンが接種できるよう乳幼児健診や訪問時に周知啓発を行う。令和5年4月1日からHPVワクチン9価が定期接種に加わるため、対象者に必要な情報提供を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
風しん患者発生数 (菊池保健所)	人	0	/	/	/	0		

事業名	母子保健事業						解決した課題	従来の事業に加え、令和5年2月に新規に開始した「妊娠・出産応援交付金事業」による経済的支援と伴走型支援を行い、妊娠期から子育て期の継続した支援体制を整備した。
事業概要	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。						残された課題	課題を抱える妊婦の把握のため、妊娠届出時の面談・アセスメントによる要支援者把握を継続する。また、将来的な生活習慣病発症予防の為に、早産予防対策や保健指導を継続実施する。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		87,699 千円			今後の施策展開の方向性	子育て支援課内に開設される「子ども家庭総合支援拠点」との連携等について協議を行い、令和6年以降の「子ども家庭センター」開設に向け関係機関との検討が必要。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
低出生体重児出生率	人	8	/	/	/	5		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	1	健康・保健の充実	A
施策の体系(柱)	3	地域医療との連携充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 菊池圏域医療機関による休日・夜間の診療体制維持 町民への適切な情報提供に基づく救急医療機関の適正利用推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 菊池圏域4市町で費用の一部を負担することで、日曜や休日、夜間の診療体制を整える。 救急医療体制を構築することで、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる医療体制を維持。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域救急医療対策事業	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。	2,885	健康保険課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		
合計点数	100	0	0	0	100	100	A

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域救急医療対策事業						解決した課題	1医療機関の辞退があったものの、他医療機関の協力により、救急医療体制を維持することができた。
事業概要	県保健医療計画に基づき、休日・夜間の診療体制を整えることにより地域医療の充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療体制の構築を図る。						残された課題	人材不足を理由に1医療機関が令和4年度以降の救急医療輪番制事業の協力を辞退されたことで、他の医療機関の負担が増えている。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		2,885			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
休日・夜間診療体制	%	100	/	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 A
基本施策	1	健康・保健の充実	
施策の体系(柱)	4	健康保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国民健康保険制度の運営 ・健康課題の見える化、重症化予防のための保健事業実施 ・適正な後期高齢者医療制度の運営 ・高齢者の保健事業および介護予防事業等実施 ・こども医療費助成制度の持続的な実施に向けた適切な受診啓発推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・財政運営主体である熊本県と連携した国民健康保険の財政基盤の強化、負担の公平化、医療費適正化 ・特定健診受診率の受診率の向上、保健事業による医療費の抑制 ・後期高齢者医療保険料の収納率向上や医療費の抑制 ・熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課との連携による切り目のない支援に向けた保健事業の実施 ・こども医療の助成対象の拡大による子どもの疾病の早期治療と適正な受診に向けた啓発

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	国民健康保険特別会計繰出金(一般会計)	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基盤安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分	211,318	健康保険課	A	●
2	後期高齢者医療費事業(一般会計)	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	434,039	健康保険課	A	●
3	こども医療費助成事業	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	189,012	健康保険課	A	●
4	国民健康保険税の賦課徴収事務	国民健康保険税の適正な賦課、徴収、収納管理業務	4,723	税務課	A	
5	国民健康保険特別会計事業	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	2,899,726	健康保険課	A	●
6	国民健康保険保健事業(保健事業)	健診等の保健事業を実施することにより、国民健康保険被保険者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を図る。	34,744	健康保険課	A	
7	後期高齢者医療特別会計事業	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。	399,540	健康保険課	A	●
8	後期高齢者医療保健事業(保健事業)	後期高齢者の疾病の早期発見、早期治療を図り、健康管理に寄与すると共に医療費の抑制を目的とする。	9,304	健康保険課	A	
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価 A
点数	100	75	50	25			
評価の個数	8	0	0	0	8		
合計点数	800	0	0	0	800	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	国民健康保険特別会計事業						解決した課題	法定外繰入を行わず、事業運営を行うことができた。
事業概要	「国民健康保険法」に基づき、国民健康保険被保険者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字となり、繰越金も減少している。今後も財政的な負担が増加することが予想される。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		2,899,726			今後の施策展開の方向性	安定的な国保財政運営を維持するために、国保被保険者の負担に配慮しながら、不足する財源について検討が必要。県との連携のもとで医療費の抑制に努めながら、国保税の必要額の確保を図り、安定した財政運営を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり保険給付費	円	340,036	/	/	/	330,000		

事業名	後期高齢者医療費事業（一般会計）						解決した課題	高齢化の進展等により、年々医療費が増加傾向となっており、令和3年度から介護保険課と連携した高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施を開始し、生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を行った。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	費の抑制に向けた高齢者の保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		434,039			今後の施策展開の方向性	熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課と連携し、高齢者への切れ目のない支援に向けた高齢者の保健事業等を進めながら医療費の抑制を図り、保険料の収納率向上に努め、後期高齢者医療制度の安定した運営を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	/	/	/	1,000,000		

事業名	後期高齢者医療特別会計事業						解決した課題	高齢化の進展等により、年々医療費が増加傾向となっており、令和3年度から介護保険課と連携した高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施を開始し、生活習慣病など重症化リスクの高い高齢者へ保健指導等を行った。
事業概要	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、後期高齢者の健康の保持と適正な医療の確保を図る。						残された課題	2025年に高齢者の増が見込まれるため、健康寿命の延伸や将来にわたり医療給付を提供できるよう、引き続き医療費の抑制に向けた高齢者の保健事業と医療費の適正化の推進が必要。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		399,540			今後の施策展開の方向性	熊本県後期高齢者医療広域連合や介護保険課と連携し、高齢者への切れ目のない支援に向けた高齢者の保健事業等を進めながら医療費の抑制を図り、保険料の収納率向上に努め、後期高齢者医療制度の安定した運営を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	1,128,212	/	/	/	1,000,000		

事業名	国民健康保険特別会計繰出金（一般会計）						解決した課題	法定外繰入を行わず、事業運営を行うことができた。
事業概要	以下の法定負担分を一般会計から国民健康保険特別会計に繰出す。 ①保険基盤安定制度分、②事務費分、③出産育児一時金分、④財政安定化支援事業分						残された課題	国保税収入の減少や医療費の増加に伴う国保事業費納付金が増加傾向にあり、単年度収支は赤字となり、繰越金も減少している。今後も財政的な負担が増加することが予想される。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		211,318			今後の施策展開の方向性	国保被保険者の負担に配慮しながら、持続可能な国民健康保険の安定的な財政運営のために法令に基づく継続した事業の実施が必要。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
法定外繰入金	円	0	/	/	/	0		

事業名	こども医療費助成事業						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用などのこども医療の適正受診について、広報やHP等で周知を行った。こども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を開始し、保護者の手続負担の軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準がコロナ以前の水準に戻ってきていることから、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに大幅に増額となった。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		189,012			今後の施策展開の方向性	令和5年度から熊本県のこども医療助成対象が拡充され、また、国も18歳までのこども医療の無償化を検討しており、動向を注視していく。子どもの疾病の早期治療等は、子育て支援の対策として有効であり、持続可能な取り組みとするために、適切な受診に向けた啓発を引き続き実施していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	24,979	/	/	/	23,750		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	A
施策の体系(柱)	1	子育て支援の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費の無償化、多子世帯への保育料軽減の継続 多様かつ分かりやすい情報発信・サービス周知 相談窓口の機能強化、各種関係機関への適切な連携
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや妊産婦に係る各種医療費助成や保育料の軽減 子育て家庭に対する経済的支援やひとり親家庭の自立に向けた日常生活支援、就業支援及び経済的支援の充実

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	児童手当支給事業	子育て支援として、中学校修了前の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。	734,950	子育て支援課	A	●
2	子育て短期支援事業	子どもの養育が一時的に困難になった場合、緊急一時的に児童擁護施設等に短期入所、子どもの健全育成を図る。	99	子育て支援課	A	
3	乳幼児健康支援訪問ヘルパー事業	出産後間もないため、家事や育児が困難な核家族家庭等に対して、ヘルパーが訪問し支援を行う。	2	子育て支援課	A	
4	養育支援訪問事業	養育困難な家庭に対し、相談・支援を行う。	0	子育て支援課	B	
5	多子世帯への保育料軽減	国多子事業、県多子事業の要件に該当する場合、2人目の保育料が半額、3人目以降の保育料が無料。	0	子育て支援課	A	
6	ひとり親家庭等医療費助成事業(再掲)	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助	7,414	福祉課	B	●
7	子ども医療費助成事業(再掲)	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	189,012	健康保険課	A	●
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	5	2	0	0	7		
合計点数	500	150	0	0	650	92.9	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	児童手当支給事業						解決した課題	R5.2月よりびったりサービスが開始され、マイナンバーカードを取得している受給者は簡単にオンライン手続きできるようになり、受給者の負担軽減に繋がった。
事業概要	子育て支援として、中学校修了前の児童の父母などの養育者に対して手当を支給する。						残された課題	びったりサービスの利用者を増やすため、周知を図る必要がある。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		734,950			今後の施策展開の方向性	今後、所得上限の撤廃や支給対象年齢の拡大など制度の改正が見込まれるため、正確な支給事務と制度の周知を遂行していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
電子申請利用件数	件	0	/	/	/	15		

事業名	子ども医療費助成事業（再掲）						解決した課題	ジェネリック医薬品の活用などの子ども医療の適正受診について、広報やHP等で周知を行った。子ども医療の新規、変更手続きのオンライン申請を開始し、保護者の手続負担の軽減を図った。
事業概要	少子化対策の一環として、満18歳まで医療費の一部負担金の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。						残された課題	医療水準がコロナ以前の水準に戻ってきていることから、全体的な助成額、一人当たりの助成額ともに大幅に増額となった。
担当課	健康保険課	R4事業費 (千円)		189,012			今後の施策展開の方向性	令和5年度から熊本県の子ども医療助成対象が拡充され、また、国も18歳までの子ども医療の無償化を検討しており、動向を注視していく。子どもの疾病の早期治療等は、子育て支援の対策として有効であり、持続可能な取り組みとするために、適切な受診に向けた啓発を引き続き実施していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
1人当たり医療費	円	24,979	/	/	/	23,750		

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業（再掲）						解決した課題	ひとり親家庭の経済的負担軽減となった。また、新型コロナウイルスの影響等により家計が急変した方などをふくしの相談窓口へ繋ぐなど経済面の相談にも応じている。
事業概要	ひとり親家庭等における医療費の一部を補助						残された課題	領収書を役場窓口へ持参して申請することが負担となり申請されない方もいる。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		7,414			今後の施策展開の方向性	現物給付や申請のデジタル化やオンライン化を検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
受給資格率	%	92	/	/	/	98		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	
施策の体系(柱)	2	保育サービスの充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 多様な保育ニーズに備える、多様なサービスの充実 医療的ケアを要する子どもや家庭を支援できる体制整備 待機児童ゼロの維持、入所率の適正化 保育人材確保に向けた就労状況・賃金等の処遇改善推進 「公立保育等再編基本方針」に基づく再編、公立認定こども園設置協議
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の負担軽減や待遇向上により保育士を確保し、保護者の多様な保育ニーズへの対応や待機児童ゼロの維持につながる。 保護者の多様な就労形態に対応した保育サービスの提供につながる。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害児保育事業	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。	12,339	子育て支援課	A	●
2	延長保育事業	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。(一部の園では20時まで利用可)	6,442	子育て支援課	A	●
3	一時預かり事業	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。	16,096	子育て支援課	B	●
4	施設型給付費・地域型保育給付費	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。	1,586,403	子育て支援課	A	●
5	施設等利用給付費	施設等利用給付認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。	6,823	子育て支援課	A	●
6	休日保育事業(大津保育園)	保護者の就労形態の多様化等により、日曜や休日における家庭での保育が困難な児童の保育を行う。	691	子育て支援課	A	
7	待機児童対策事業(待機児童支援助成事業補助金)	待機児童となった児童が認可外保育園に入所する場合に、認可外保育園と認可保育園の保育料の差額を助成し、保護者の負担軽減を図るとともに、待機児童の解消につなげる。	179	子育て支援課	A	
8	待機児童対策事業(保育士就職支援助成金)	町内の認可保育園等に正規職員として就職した保育士に助成金を出し、保育士の待遇向上を図り、保育士の確保につなげる。	1,050	子育て支援課	A	
9	保育補助者雇上強化事業	保育士資格を目指す保育補助者を雇い上げ、保育士の業務負担を軽減し、離職防止を図る。	14,382	子育て支援課	A	
10	保育体制強化事業	清掃業務や給食の配膳等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を持たない補助者を配置し、保育士の業務負担の軽減を図る	6,048	子育て支援課	A	
11	待機児童対策事業(予備保育士雇い上げ補助金)	年度後半に向かって増える保育需要に対応するため、予備保育士を雇用するための費用を助成し、年度当初に予備保育士の確保を図る。	10,012	子育て支援課	A	
12						
13						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	10	1	0	0	11		
合計点数	1000	75	0	0	1075	97.7	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	施設型給付費・地域型保育給付費						解決した課題	労働等により家庭での保育が困難な児童を保育所等で保育することにより、児童の処遇の向上と児童福祉の充実を図った。
事業概要	国が定める保育単価に基づき、大津町の児童が入所する保育所・地域型保育事業所等に給付費を支出する。						残された課題	就学前人口は減少傾向にあるものの、0～2歳児の利用率増加に伴う受け皿確保が必要なため、引き続き待機児童解消のための保育士確保等の対策を進めていく。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		1,586,403 千円			今後の施策展開の方向性	子ども・子育て支援事業計画に基づき保育先や保育士の確保し、保育サービスの充実、保育の質の向上を目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内保育所等入所児童数	人	1,479	/	/	/	1,450		

事業名	一時預かり事業						解決した課題	保護者の緊急的なニーズに対応し、子育ての負担軽減に努めた。
事業概要	保護者の疾病やその他理由により家庭での育児が一時的に困難な場合に対応するため、保育所や認定こども園等で一時預かりを実施する。一般型と幼稚園型がある。						残された課題	産休や育休等により保育士の配置ができない場合もあり、保育士等の確保が課題となっている。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		16,096 千円			今後の施策展開の方向性	コロナ禍で一時的に利用が減少したものの、保護者からのニーズは高いため、安心して子育てができるよう保育士確保に努めながら、継続して一時預かり事業を実施していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	339	/	/	/	500		

事業名	障害児保育事業						解決した課題	障がい児及び軽度障がい児を受け入れてもらい、支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、児童の福祉向上に努めた。
事業概要	対象児童が入所している町内私立保育所に委託し、受け入れ保育所に保育士の加配費用等を助成、入所を促進する。						残された課題	対象児童が増加しており、サポートに入る職員確保が課題となってきている。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		12,339 千円			今後の施策展開の方向性	今後も支援が必要な児童に対し適切な支援を行い、障がいのある児童への理解を深め、就学後も適切な支援ができるよう、連携や情報の共有を促進していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
障がい児受入数	人	24	/	/	/	16		

事業名	施設等利用給付費						解決した課題	保護者の経済的な負担を軽減するとともに、就労等保護者のニーズに対応することができた。
事業概要	施設等利用給付費認定を受けた児童が利用する幼稚園・認定こども園の預かり保育、認可外保育施設利用料、新制度未移行幼稚園利用料について施設又は保護者に給付する。						残された課題	就学前人口は減少傾向にあるものの、教育時間後の預かり保育の需要や認可外保育施設の利用を希望する児童が増えているため、多様化するニーズに対応していく必要がある。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		6,823 千円			今後の施策展開の方向性	保護者の経済的な負担を軽減するとともに、幼稚園等への就園の奨励を図り、児童福祉の充実を図っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用人数	人	1,194	/	/	/	1,300		

事業名	延長保育事業						解決した課題	町内の全保育園において、安心して子育てができるように仕事と子育ての両立支援に努めた。
事業概要	町内の保育所及び認定こども園に事業を委託し、18時から19時までの1時間の延長保育を実施。(一部の園では20時まで利用可)						残された課題	共働きの家庭が増えるなど、就労形態の多様化等により今後も延長保育の需要が見込まれる。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		6,442 千円			今後の施策展開の方向性	コロナ禍で一時的に利用児童数は減少したものの、今後も保護者の延長保育に対するニーズは大きいまま推移すると予想されるため、保育所での延長保育を促進する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用児童数	人	15,011	/	/	/	15,000		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 A
基本施策	2	子ども・子育て支援の充実	
施策の体系(柱)	3	子どもを安心して生み育てられる地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目ない支援に向けた、関係機関連携強化 ・支援の地域格差解消に向けた保育園への相談窓口設置 ・地域子育て支援拠点事業の充実 ・子ども家庭総合支援拠点設置 ・「ファミリー・サポート・センター事業」の充実 ・働きながら安心して子育てできる環境の更なる充実
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育てと就労の両立 ・子育ての孤立感、不安感の解消

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	地域子育て支援拠点事業	育児等について相談する相手もなく密室保育により孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。	13,167	子育て支援課	A	●
2	要保護児童対策協議会事業	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護(要支援)児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。	9,725	子育て支援課	A	●
3	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。	9,555	子育て支援課	B	●
4	病児・病後児保育事業	病後児保育施設で病児・病児回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。	6,503	子育て支援課	A	●
5	放課後児童健全育成事業	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。	157,440	子育て支援課	A	●
6	母子保健事業(再掲)	母子保健法に基づく乳幼児健診、妊婦・乳児訪問指導等の保健事業を行い、生涯を通じて健やかな生活をおくるために、望ましい生活習慣の基盤を固めるための保健指導を行うもの。	87,699	健康保険課	A	
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価 A
点数	100	75	50	25			
評価の個数	5	1	0	0	6		
合計点数	500	75	0	0	575	95.83	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	放課後児童健全育成事業						解決した課題	家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや生活の指導を行うことにより、その児童の健全な育成を図るとともに、保護者が仕事と子育てを両立できるよう支援に努めた。
事業概要	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。						残された課題	共働きの家庭が増えるなど、就労形態の多様化等により、学童保育に関するニーズは引き続き増加が予想される。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		157,440			今後の施策展開の方向性	今後も学童保育に対するニーズは大きいまま推移すると予想されるため、施設整備を含めた受け入れ態勢の確保に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用児童数	人	772	/	/	/	900		

事業名	地域子育て支援拠点事業						解決した課題	地域子育て支援拠点事業を2カ所で開催し、子育て親子が気軽に集える場を提供している。
事業概要	育児等について相談する相手もなく密室保育により孤立感・閉塞感を募らせている親子に、気軽に集い精神的な安心感をもたらす場を提供する。						残された課題	家庭での保育を支援する場として、子育て親子が気軽に集える場所づくりに努める。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		13,167			今後の施策展開の方向性	地域の身近な親子ふれあいの場所、町子育て・健診センター内の「子育て支援センター」を核として、町全体の子育て中の家族を支援していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	5,917	/	/	/	20,000		

事業名	要保護児童対策協議会事業						解決した課題	要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会において、児童虐待防止などの啓発、早期発見、支援ネットワークの構築に努めた。
事業概要	児童虐待の防止と早期発見、早期対応を行うため要保護（要支援）児童家庭の訪問及び個別対応支援を行う。						残された課題	全国的に児童虐待の相談件数は年々増加しており、関係機関の連携の強化が課題となっている。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		9,725			今後の施策展開の方向性	要保護児童対策地域協議会を中心に、子育て世代包括支援センター等の関係機関が連携して取り組んでいく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
新規相談件数	件	85	/	/	/	80		

事業名	ファミリー・サポート・センター事業						解決した課題	協会員が依頼会員の様々なニーズに応えた預かりに対応し、子育て中の家庭を支えることができた。
事業概要	子どもを預けたい保護者と子どもを預かってくれる人を会員登録し、必要時に調整、育児中や仕事を持つ保護者の子育て支援を行う。						残された課題	依頼会員のニーズに応えるために、協会員の確保が課題。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		9,555			今後の施策展開の方向性	会員相互に助け合う活動に関する連絡、調整機関として、地域の子育て支援の充実を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用件数	件	1,070	/	/	/	2,000		

事業名	病児・病後児保育事業						解決した課題	病気または病気回復期の児童を預かることで、仕事と子育ての両立支援を行った。
事業概要	病後児保育施設で病気・病気回復期児童の預かり保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を図る。						残された課題	予約や予約状況の確認をオンラインで確認できるLINE公式アカウントの周知が必要である。
担当課	子育て支援課	R4事業費 (千円)		6,503			今後の施策展開の方向性	核家族化、共働きの家庭の増加により、今後も病児・病後児保育の需要が見込まれる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
延べ利用者数	人	202	/	/	/	250		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	1	高齢者が活躍する場の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの新規会員数拡大・利用促進、雇用創出活性化 ・老人クラブへの新規加入者獲得や担い手確保推進 ・ボランティアやまちづくり団体等の各種コミュニティとのマッチング
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がこれまで培ってきた能力や経験を活かせる場の形成 ・高齢者が地域の助け合い活動の主体となる場の形成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	シルバー人材センター育成事業	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う	9,130	介護保険課	B	●
2	金婚表彰事業	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する	487	介護保険課	A	●
3	敬老事業	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する	760	介護保険課	A	●
4	老人クラブ補助事業	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する	1,741	介護保険課	B	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	シルバー人材センター育成事業						解決した課題	R4年度も継続してシルバー人材センターによる会員拡大・維持のための後押しを行うことができた。
事業概要	大津町シルバー人材センターに補助することによりシルバー人材センターの育成を行う						残された課題	さらなる会員数の増加が望まれる。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		9,130			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
会員数	人	306	/	/	/	340		

事業名	老人クラブ補助事業						解決した課題	地域貢献活動や健康づくり活動が行われ、高齢者の介護予防を促進することができた。また、地域の重要な交流の場として活用されている。
事業概要	単位老人クラブと老人クラブ連合会に補助することにより老人クラブの運営を支援する						残された課題	単位老人クラブ団体の減少や新規クラブ加入者減少、クラブ運営の担い手不足への対応について検討する必要がある。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		1,741			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老人クラブ加入者数	人	506	/	/	/	520		

事業名	敬老事業						解決した課題	百歳を迎えた方に敬老祝金等を提供することができ、長寿のお祝いを行うことができた。
事業概要	100歳到達者へ敬老祝金を贈呈する						残された課題	新型コロナウイルス感染予防のため、町長による巡回は特に面会制限が強いられている施設入所者に対し、対応に苦慮する。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		760			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
広報誌への掲載	回	1	/	/	/	1		

事業名	金婚表彰事業						解決した課題	表彰式の規模縮小に伴い、記念撮影費用を町が負担することで、金婚の祝いの代替策を講じることができた。
事業概要	熊日新聞社と共催で金婚夫婦表彰式を開催し記念品を贈呈する						残された課題	表彰式開催の際は新型コロナウイルス感染症蔓延時の対策を講じるため、柔軟な対応を今後も検討していく必要がある。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		487			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
表彰夫婦数	組	56	/	/	/	75		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価 B
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な予防事業実施、啓発強化による健康づくりのすそ野拡大 地域人材の育成と活躍の場の提供支援 生活支援等サービスの充実。「高齢者等見守りネットワーク」の拡充 認知症の早期発見・早期ケア、認知用の人や介護者を支える体制整備 住まい・医療・介護等の地域内での一体的な提供体制推進 専門員の配置を含めた総合相談機能充実
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家族介護用品支給事業	在宅で要介護者を介護する家族に対し介護用品給付券の支給を行う	2,274	介護保険課	A	
2	楽善ふれあいプラザ指定管理委託	介護予防拠点である楽善ふれあいプラザの指定管理委託における修繕費	304	介護保険課	A	
3	高齢者住宅改造助成事業	住宅の大規模な改造等が必要な高齢者に改造費用の一部を補助する	0	介護保険課	B	
4	老人保護措置委託	経済的、環境上の理由から在宅で生活することが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置を行う	49,187	介護保険課	A	
5	高齢者外出支援サービス事業	身体の状況により運転、公共交通機関の利用、家族による移送が困難な高齢者に対して、タクシー費用の一部又は全部を助成し、生活支援を行う。	3,659	介護保険課	B	
6	保健事業と介護予防の一体的実施事業費(介護分)	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。	1,743	介護保険課	B	●
7	地域介護予防活動支援事業(重層的地域づくり事業)	<ul style="list-style-type: none"> まごころ生活支援事業 地域介護予防活動支援事業委託(介護予防サポーター養成講座・介護予防サポーター地域活動育成委託) 	929	介護保険課	B	
8	地域包括支援センター運営事業(重層的包括相談支援事業)	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	39,180	介護保険課	B	●
9	生活支援体制整備事業(重層的地域づくり事業)	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等の取り組みを作る。	9,163	介護保険課	B	●
10	大津町権利擁護推進センター事業	大津町社会福祉協議会が実施する法人後見事業への補助	8,548	介護保険課	A	
11	介護予防・生活支援サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 訪問型サービスA=高齢者ホームサポート 通所型サービスA=介護予防はつらつ元気づくり事業 通所型サービスC=ほり出し健康教室 	59,832	介護保険課	B	
12	一般介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防健診事業委託・介護予防型ミニデイ事業委託 介護予防フットケア教室委託・介護予防専門職派遣事業委託・通所型介護予防事業委託(地域版) 	12,004	介護保険課	B	
13	介護予防ケアマネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> 審査支払手数料・介護予防ケアマネジメント委託・総合事業財政調整負担金・介護予防ケアマネジメント費負担金・要支援者、事業対象者に対して介護予防、生活支援サービスが適切に提供できるようにケアマネジメントを行う。 	6,540	介護保険課	B	
14	在宅医療・介護連携推進事業(包括的推進事業 社会保障充実分)	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療担当看護師・大津町在宅医療・介護連携推進会議・多職種連携研修会講師謝礼・熊本メディカルネットワーク使用料・印刷製本(在宅医療資源マップ・わたしの思い出つづり) 	2,013	介護保険課	A	●
15	認知症施策推進事業(包括支援事業 社会保障充実分)	認知症への対応について早期発見・早期ケア体制の構築。認知症推進員・認知症初期集中支援事業委託・認知症地域支援推進研修負担金	2,188	介護保険課	A	●

16	地域ケア会議推進事業	高齢者個人に対する支援の充実及びそれを支える社会基盤の整備を図る	450	介護保険課	B	
17	任意事業	②家族介護支援事業（認知症高齢者見守り事業）③その他の事業（成年後見制度利用支援事業、住宅改修支援事業助成金、認知症サポーター養成講座、介護相談員派遣事業、食の自立支援事業、ホットライン体制整備事業）	11966	介護保険課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	11	0	0	17		B
合計点数	600	825	0	0	1425	83.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域包括支援センター運営事業（重層的包括相談支援事業）						解決した課題	令和4年度から重層的包括的相談支援事業に移行した。月4回の重層的支援ケース会議に参加、月1回の重層的支援会議で情報を共有している。
事業概要	①介護予防ケアマネジメント業務②総合相談支援事業③権利擁護④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業						残された課題	関係機関との連携体制の見直し及び各専門職の業務負担の見直し
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		39,180			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
最終件数（助言・つなぎ等）	件	109	/	/	/	250		

事業名	生活支援体制整備事業（重層的地域づくり事業）						解決した課題	高齢者の見守り事業の充実に向けて、各団体と現状及び課題を共有し、それに伴う解決策について協議することができた。就労的活動支援コーディネーター（4日/週）を配置。
事業概要	生活支援コーディネーターを中心に関係者間で組織する協議体において地域の課題やそれに係る解決策等について協議し新たな資源開発等の取り組みを作る。						残された課題	協議体、地域ケア推進会議、在宅医療・介護連携推進会議等との連携を整理し事業を展開する必要がある。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		9,163			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
次年度に向けた政策提言数	個	7	/	/	/	3		

事業名	認知症施策推進事業（包括支援事業 社会保障充実分）						解決した課題	認知症地域支援推進員や認知症疾患医療センターとの密な連携により受診やケアに繋がった。継続的な受診MCIチェックリストの活用により、早期介入に繋げることができた。
事業概要	認知症への対応について早期発見・早期ケア体制の構築。認知症推進員・認知症初期集中支援事業委託・認知症地域支援推進研修負担金						残された課題	相談や医療に繋がった時点で、認知症の中度～重度のケースが多くみられる。早期介入や予防が必要。また、受診に繋がらなかったり、中断するケースもある為、継続的な支援が必要。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		2,188			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
専門医受診や早期ケアに繋がった人	%	18	/	/	/	15		

事業名	在宅医療・介護連携推進事業（包括的推進事業 社会保障充実分）						解決した課題	実際在宅医療を実施されている医師を講師にむかえ講演会を実施。現場の多職種が必要とするテーマや方法で多職種連携の推進に寄与することができた。
事業概要	・在宅医療担当看護師・大津町在宅医療・介護連携推進会議・多職種連携研修会講師謝礼・熊本メディカルネットワーク使用料・印刷製本（在宅医療資源マップ・わたしの思い出づり）						残された課題	・ICTツールの普及・啓発 ・医師会等の関係団体と連携し、医療における専門職の参加を増やす。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		2,013			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
参加者数	人	99	/	/	/	250		

事業名	保健事業と介護予防の一体的実施事業費（介護分）						解決した課題	R3年度からの実施事業。ハイリスク対象者、健康実態不明者に対し、訪問指導を実施。医療・介護サービスへ繋がった。
事業概要	健康診査・保健指導の結果に基づき抽出した対象者や健康状態不明者への訪問等による個別指導を実施し、必要な人を医療・介護サービスへ繋ぐ。						残された課題	・ハイリスク対象者の継続的な医療・介護サービス等の利用状況の確認 ・医療・介護に繋がっていない、健康状態不明者の状況確認
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		1,743			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
医療及び介護保険サービスに繋がった割合	%	94	/	/	/	60		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	3	高齢者福祉の充実	
施策の体系(柱)	3	介護保険制度の円滑な運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型のケアマネジメント推進 ・生活の質を維持・向上させる、適正な介護保険制度運営 ・ICT導入支援、介護アシスタントの養成・施設等とのマッチング ・外国人労働者確保に向けた取り組み推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付の適正化により、利用者へ適切な介護サービスを提供することができ、不適切な給付の削減もできる ・元気な高齢者が施設等で働くことで生きがいを持つことができる

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	一般管理費	被保険者に対する各種通知や制度改正に合わせたシステム改修	2,904	介護保険課	A	
2	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う	2,416,903	介護保険課	A	●
3	介護給付費等費用適正化事業	国保連帳票の点検とケアプラン点検	1,009	介護保険課	B	●
4	介護認定調査等費	介護認定調査員による認定調査を行う	22,741	介護保険課	B	●
5	介護認定審査会費	菊池広域連合で認定審査会を実施するための事務	10,347	介護保険課	A	
6	介護保険住宅改修申請支援事業助成金	住宅改修理由書を作成した介護支援専門員に1件あたり2,000円を助成する	4	介護保険課	A	
7	介護保険低所得者対策事業	対象となる利用者に「社会福祉法人等利用者負担軽減確認証」を発行し、実際に軽減を行い、一定額以上に至った場合に社会福祉法人からの申請により補助する	0	介護保険課	C	
8	介護給付費準備基金積立金、第1号被保険者保険料還付金、償還金、第1号被保険者還付加算金、一般会計繰出金	基金積立、過誤納保険料の還付、決算に伴う一般会計繰出し等	160,005	介護保険課	A	
9	計画策定等委員会費	介護保険事業計画策定に関する事務と地域密着型サービス及び地域包括支援センターの運営委員会に関する事務	1,835	介護保険課	A	
10	介護保険特別会計繰出金	介護サービス等にかかる町の法定負担分、低所得者保険料軽減負担金の国県町分、介護保険運営に係る事務費等を介護保険特別会計に繰り入れる	404,201	介護保険課	A	
11	賦課徴収費	保険料の賦課徴収	1,188	介護保険課	A	
12	介護基盤緊急整備特別対策事業補助金	施設整備に係る事業者への補助金	3,500	介護保険課	A	●

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	9	2	1	0			
合計点数	900	150	50	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	介護サービス等諸費、高額介護サービス等費、高額医療合算介護サービス等費、その他諸費						解決した課題	第8期計画に基づき、介護サービスや高額介護サービス及び高額医療合算サービス等を提供できた。
事業概要	国民健康保険連合会に審査・支払を委託し、給付費等を介護保険施設等に支払う						残された課題	2040年を見据え、要介護認定者が更に増加していくため、在宅サービスの受け皿やその給付費確保（適正な保険料設定）のための分析を引き続き、実施していく必要がある。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		2,416,903			今後の施策展開の方向性	地域包括ケアシステムの理念のとおり、在宅サービスの質の向上と選択肢の幅を広げることで、生涯住み慣れた地域で生活を維持していくためにも、在宅サービスの充実とニーズに応じた介護サービスを提供していく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
在宅・居住系サービス利用率	%	81.4	/	/	/	82		

事業名	介護認定調査等費						解決した課題	主任認定調査員を中心に新任認定調査員に対し、助言・指導を行うことで、能力の平準化を図った。
事業概要	介護認定調査員による認定調査を行う						残された課題	申請から30日以内に認定結果を出さなければならないが、間に合わない件数も多い現状がある。（主治医意見書の到着待ちや審査会の件数制限の要因もある）
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		22,741			今後の施策展開の方向性	適切かつ迅速な認定調査を行うため、引き続き認定調査員それぞれが1件当たりに係る時間を短縮できるようにスキル向上や業務改善等を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
30日以内に認定した割合	%	17.4	/	/	/	20		

事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業補助金						解決した課題	1施設において看取り環境の整備を行い、介護サービスの充実を図ることができた。
事業概要	施設整備に係る事業者への補助金						残された課題	令和4年度に完了できなかった繰越分の整備を行う。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		3,500			今後の施策展開の方向性	第9期に向けて施設整備の検討をしていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
施設の整備数	件	1	/	/	/	1		

事業名	介護給付費等費用適正化事業						解決した課題	ケアプラン点検やヒアリングを積み重ねることで、ケアプラン記載内容がより具体的なものになった。また町の助言を受け入れ、適正なケアマネジメントの実践に努めようとするケアマネジャーが以前よりも増えている。
事業概要	国保連帳票の点検とケアプラン点検						残された課題	依然として、事業所間またはケアマネジャー間で、自立支援に資する適正なケアマネジメントを作成できる資質に差がある。
担当課	介護保険課	R4事業費 (千円)		1,009			今後の施策展開の方向性	引き続き対象件数を絞り、精査・助言を必要とする事業所やケアマネジャーを中心として点検を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
評価平均点	点	1.6	/	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	4	障がい者福祉の充実	B
施策の体系(柱)	1	障がい者支援の総合的推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 緻密な実態調査に基づく次期障がい福祉計画策定 発達障がいの早期発見に向けた巡回相談実施 適切な療育へ早期につなげるための療育機関との体制整備 「ふくしの相談窓口」のさらなる周知と機能強化 各種関係機関との連携、専門職増加等による体制整備と伴走型支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉に関する啓発活動や住民同士が触れ合う場・機会づくりを設けることで地域社会が障がいのある人への理解を深める 障がい福祉に関する情報提供や相談体制の充実・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	日中一時支援事業	障がいのある人に、日中活動の場を提供し、見守りや日常的な訓練を行うことで、その家族の就労及び一時的な休息を支援する。	4,274	福祉課	B	
2	意思疎通支援事業	意志疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳、要約筆記等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	1,577	福祉課	A	
3	移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	2,192	福祉課	B	
4	相談支援事業	障がいのある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行い、支援する。	15,317	福祉課	B	
5	日常生活用具事業	障がい程度に応じた日常生活用具(入浴補助用具、排泄管理支援用具等)の給付を行う。(地域生活支援事業の中の一つ)	6,349	福祉課	A	
6	補装具交付事業	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具の給付・貸付・修理を行う。	3,459	福祉課	A	
7	自立支援医療費給付事業 (更生医療)	障がいの軽減や回復のために必要な医療(人工透析等)に対し、医療費の一部を公費で負担する。	23,944	福祉課	A	
8	重度心身障害者医療費助成事業	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,020円、入院2,040円を超えた額を助成する。	44,738	福祉課	B	●
9	障害福祉サービス事業	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	737,977	福祉課	A	●
10	障害児通所支援事業	児童発達支援や放課後等デイサービスなどのサービス費用の一部を保護者が負担する。	445,827	福祉課	A	●
11	障害者虐待防止事業	障害者虐待防止法の規定に基づき、町虐待防止センターを設置、虐待発覚時の事実確認や措置を行う。	80	福祉課	A	
12	難聴児補聴器購入費助成事業	軽度・中度の難聴障がいがある児童に対し、補聴器の購入費の助成を行う。	0	福祉課	A	
13	自立支援医療費給付事業 (育成医療)	障がいのある児童や今後障がいを残す恐れのある児童で、確実な治療効果があるものに対し、医療費の一部を公費で負担する。	876	福祉課	A	
14	訪問入浴サービス事業	自宅での入浴が困難な障がい者に対する入浴支援。サービスの利用に応じ、事業所へ利用料を支払う。	0	福祉課	A	
15	理解促進研修・啓発事業	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	373	福祉課	B	
16	巡回専門員派遣事業	専門員が学校などを巡回し、職員や親に早期発見のための助言を行う。	7,504	福祉課	B	●
17	手話奉仕員養成研修事業	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	157	福祉課	A	

18	ペアレントプログラム事業	親や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。	541	福祉課	B	●
19	自立支援医療（精神通院）事業	精神疾患に関する通院医療費について、限度額認定を行い、負担の軽減を図る。	0	福祉課	A	
20	身体障害者相談員・知的障害者相談員設置事業	当事者や家族の目線に立った相談支援の実施に協力する相談員を設置する。	30	福祉課	B	
21	特別児童扶養手当・特別障害者手当・障害児福祉手当事業	中程度以上の障がいをもつ障がい児の養育者や、重度障がい者（児）本人に手当を支給する。	0	福祉課	B	
22	障害者福祉費総務費	支援区分認定調査員等の人件費や意見書作成手数料、審査会や自立支援協議会等に要する負担金等。	12,562	福祉課	A	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	13	9	0	0	22		B
合計点数	1300	675	0	0	1975	89.8	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業						解決した課題	サービスの利用により、自立生活と社会生活の向上を図ることができた。決定者の約85%がサービスを利用。残りの15%は緊急時のみ利用されている。
事業概要	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。						残された課題	施設への入所希望に対し、待機期間が長い施設がある。また、新規のサービス利用希望者の増加に伴い、給付費が増加しており、今後もこの傾向が続く見込み。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		737,977			今後の施策展開の方向性	対象者のニーズを確認しながら、相談支援事業所やサービス提供事業所との連携のもと、適正な支給決定を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	92.1	/	/	/	100		

事業名	障害児通所支援事業						解決した課題	療育事業所が新規に開所し、療育支援を受けられる事業所が増加したことにより、支給決定人数の97%が利用に繋がった。
事業概要	児童発達支援や放課後等デイサービスなどのサービス費用の一部を保護者が負担する。						残された課題	新規の利用希望者の増加に伴い、給付費が増加の一途を辿っており、今後もこの傾向が続く見込み。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		445,827			今後の施策展開の方向性	療育事業所のみでなく、家庭、学校、園等が連携し、共通認識のもとで療育支援を提供することにより自立した生活に繋がるよう引き続き、1人1人に応じたサービス提供を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	97.0	/	/	/	100		

事業名	重度心身障害者医療費助成事業						解決した課題	給付件数は減少したが、金額は増加している。重度の障がいがある人に対し、必要な医療費を助成し、負担軽減を図った。(R2年6,303件、R3年6,900件、R4年6,836件)
事業概要	重度の心身障がい者を対象に医療機関ごとに通院1,020円、入院2,040円を超えた額を助成する。						残された課題	事務処理の過程で、医療保険に依じた高額医療や付加給付の確認作業が煩雑であり、適正な給付のため、事務処理にかなりの時間を要している。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		44,738			今後の施策展開の方向性	利用者に対するサービス向上のため、事務処理の効率化(現物給付等の導入)の検討(広域的な実施も検討)。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
給付率	%	100	/	/	/	100		

事業名	巡回専門員派遣事業						解決した課題	昨年より巡回相談回数が増え、計30カ所の園・学校等へ巡回支援及び講演会等を開催することができた。
事業概要	専門員が学校などを巡回し、職員や親に早期発見のための助言を行う。						残された課題	障がいの早期発見・早期対応のための助言等の支援により、療育を希望する保護者が増加しているが、医療機関等での客観的な療育の必要性を確認できる場が限られている。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		7,504			今後の施策展開の方向性	施設に対する環境設定及び保護者や支援者(保育士や教師等)の子どもへの関わり方に対する助言を通じ、支援が必要な子どもと保護者への切れ目ない支援を継続していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
巡回相談支援回数	回	229	/	/	/	280		

事業名	ペアレントプログラム事業						解決した課題	令和4年度は、3クルールの開催で、21名が修了された。修了者は、家庭内で継続して子どもの成長を支援していく意向がある。
事業概要	親や支援者が、子どもの行動の客観的な理解方法を学び、子育てに自信を身につける専門的な講座を開催。						残された課題	講座を実施する講師的な役割をする修了者の育成が必要。講座は少人数で行う必要があり、講師的な役割の修了者により講座を実施し、講座回数を増やす必要がある。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		541			今後の施策展開の方向性	修了者が増加することで、家庭内及び地域での療育支援体制が整い、子どもの成長をサポートできる町になるよう、今後も継続する必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
年間修了者	人	21	/	/	/	30		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	4	障がい者福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	自立・社会参加と地域共生社会の実現	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 多様な雇用や就労環境整備、居住環境整備の支援、啓発活動実施 生活基盤確保、就労継続支援事業充実、一般就労への移行支援 趣味や文化・学習活動等への参加の場の提供と情報発信
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 多様な雇用や就労環境整備の支援による障がいがある人の雇用の場が確保できる 障がいのある人がスポーツ、レクリエーション、文化・学習活動等に参加できる場の確保と機会が充実する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	障害者住宅改造助成事業	障がい者の在宅環境の改善のため、段差解消や玄関、浴室、台所等の改造費を一部助成する	0	福祉課	A	
2	意思疎通支援事業（再掲）	意志疎通を図ることに支障がある聴覚障がい者等に手話通訳等の方法により、意思疎通を仲介するサービス。	1,577	福祉課	A	
3	地域活動支援センター事業	菊池圏域で4箇所の事業所に事業を委託（大津町はⅢ型）。4市町の負担額を算出し、市町に負担金を支払う。	4,643	福祉課	B	
4	移動支援事業（再掲）	屋外での移動が困難な障がい者等を対象に外出のための支援を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	2,192	福祉課	B	
5	相談支援事業（再掲）	障害のある方等からの相談に応じ、情報提供や必要な援助を行い、支援する。	15,317	福祉課	B	
6	社会参加促進事業	自動車運転免許の取得・自動車の改造費用の一部を助成する。（費用の2/3以内で上限10万円）	449	福祉課	A	
7	日常生活用具事業（再掲）	障がい程度に応じた日常生活用具（入浴補助用具、排泄管理支援用具等）の給付を行う。（地域生活支援事業の中の一つ）	6,349	福祉課	A	
8	補装具交付事業（再掲）	身体障がいの部分を補い、生活しやすくするために必要な用具を給付・貸付・修理を行う。	3,459	福祉課	A	
9	障害福祉サービス事業（再掲）	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。	737,977	福祉課	A	●
10	成年後見制度利用支援事業 制度利用支援事業	障がい者の権利擁護のため、町長が成年後見制度審判の請求を行うもの。	0	福祉課	A	
11	理解促進研修・啓発事業 （再掲）	地域住民に対し、障がい者等に対する理解を深めるために、教室等の開催やイベント開催、広報活動を行う。	373	福祉課	B	
12	手話奉仕員養成研修事業 （再掲）	聴覚に障がいのある方への理解を深め、社会参加を促進するために手話奉仕員を養成するもの。	157	福祉課	A	
13	障害者優先調達推進事業	国等による障害者就労支援施設等からの物品調達の推進を進める。毎年度調達方針を策定、前年度の調達実績とあわせて公表する。	0	福祉課	B	
14	身体障害者福祉会補助金	大津町身体障害者福祉会の活動に要する費用に対し、補助を行う。	40	福祉課	B	

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	8	6	0	0	14		
合計点数	800	450	0	0	1250	89.3	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	障害福祉サービス事業（再掲）						解決した課題	サービスの利用により、自立生活と社会生活の向上を図ることができた。決定者の約85%がサービスを利用。残りの15%は緊急時のみ利用されている。
事業概要	障がい支援区分や支給量を決定。利用したサービスの費用の一部を利用者が負担。残りを町が事業主に支払う。H25年度から難病患者が対象に追加。						残された課題	
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		737,977			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実利用率	%	92.1	/	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	1	地域防犯地策の強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪や事故に関する積極的な情報収集・提供 ・ 町内全域街灯・防犯灯のLED化 ・ 防犯教育や啓発活動、防犯パトロールによる地域防犯力強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察や関係団体との連携による地域防犯の取り組みを強化、活動支援、町民一人ひとりの防犯意識の高揚による安全性の向上 ・ 防犯灯の設置、地域ぐるみの防犯パトロールの継続による安全で住みよい地域づくり

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防犯対策事業	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業	10,516	防災交通課	B	●
2	防犯灯・街灯設置事業	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置	50,521	防災交通課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0			
合計点数	100	75	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	防犯灯・街灯設置事業						解決した課題	R3に南部地区、R4に北部・中部地区の防犯灯・街灯のLED化を実施。また、街灯設置補助金による地域内の街灯新設を実施。
事業概要	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置						残された課題	都市開発が進み、既存の行政区域外への住宅新設により、街灯が設置されていない地域がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		50,521			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	/	/	/	30		

事業名	防犯対策事業						解決した課題	青バトを更新し、小・中学生の登下校時に町内全域の防犯パトロールを実施。また、警察・防犯協会との協定に基づき防犯カメラの設置補助を実施。
事業概要	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業						残された課題	犯罪が発生している状況から、防犯パトロールの強化及び防犯カメラ設置等の更なる防犯対策が必要。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		10,516			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	/	/	/	30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	2	「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち	施策評価
基本施策	5	地域福祉の充実	
施策の体系(柱)	2	地域福祉意識の高揚	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平時でも地域での支え合いが実現できる仕組みの共有化・改善 ・ 地域福祉活動を実施する地区の増加 ・ 地域課題を議論・解決できる体制構築に向けた地域福祉実践支援 ・ 災害時の避難行動、適切なケアにつながる受援・支援体制強化 ・ 孤立を生まない地域福祉に向けた啓発
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員児童委員等の活動支援、災害時における避難行動要支援者を地域で支える仕組みの充実等による地域主体の地域づくり体制の構築

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害時避難行動要支援者支援事業	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	1,630	福祉課	B	●
2	更生保護女性会補助金	「大津町更生保護女性会」の活動に要する経費に対し補助を行う。	40	福祉課	A	
3	保護司会大津支部補助金	法務大臣より委嘱を受けた保護司で組織する「大津町保護司会大津支部」に対し、活動経費の補助を行う。	50	福祉課	A	
4	民生委員・児童委員活動補助金	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。	3,957	福祉課	B	●
5	大津町社会福祉協議会補助金	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。	24,429	福祉課	B	●
6	老人福祉センター運営事業	高齢者の各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に付与する施設として設置されている大津町老人福祉センターの施設管理運営を行う。	19,053	福祉課	B	
7	災害救助費	大津町災害見舞金支給要綱に基づき、住民が風水害や火災等で被害を受けた際に見舞金を支給する。福祉避難所の運営費用を支給する。		福祉課	A	
8	地域づくり推進事業（再掲）	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。	15,554	福祉課	B	●
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	3	5	0	0	8		
合計点数	300	375	0	0	675	84.4	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	大津町社会福祉協議会補助金						解決した課題	社協運営費を補助することにより、安定した運営基盤の確保ができ、各種事業が円滑に遂行できた。
事業概要	大津町社会福祉協議会の運営に要する経費に対し補助を行う。						残された課題	自主収入財源の増額確保が求められるが、社会福祉協議会自体が、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体のため、営利主導の大幅な収入源確保が見込めない。
担当課	福祉課	R4事業費(千円)		24,429			今後の施策展開の方向性	自主財源の確保を含め、社会情勢に即した事業の見直し・検討が必要。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
小地域福祉活動推進地区数	箇所	18	/	/	/	27		

事業名	地域づくり推進事業（再掲）						解決した課題	コロナ禍により実施できなかった福祉まつりの代替事業としてのカレンダー制作やフードパントリー事業等を実施した。また、重層的支援体制整備事業の中で、包括化推進会議を開催し、課題のある世帯と地域資源のマッチングを検討した。
事業概要	住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、住民主体の地域づくりを推進する。						残された課題	令和4年度から地域福祉推進員が新しい任期となり、新任委員もいるため、未指定地区も含めて、地域福祉推進の意義等を周知していく必要がある。未指定地区も含めて新たな委員選任が必要である。
担当課	福祉課	R4事業費(千円)		15,554			今後の施策展開の方向性	地域共生社会に向け、世帯課題を含め、住民自ら課題を解決できる体制を更に構築し、充実させていく必要がある。そのためにも、人材育成や地域の体制づくり、地域資源の開拓やマッチングの検討を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
「地域福祉の充実」に対する満足度	%	21.2	/	/	/	40		

事業名	民生委員・児童委員活動補助金						解決した課題	地域における委員による支援、見守り活動や相談活動が継続して行なわれており、必要に応じて関係機関へ相談、支援の繋ぎを行っている。令和4年度の委員一斉改選により、新任委員もいるため、研修も実施した。
事業概要	大津町民生委員児童委員協議会の活動に要する経費に対し補助を行う。						残された課題	担当区域の適正件数を超過して活動している委員もあり、区域及び定数を見直す必要がある。また、委員未選出の地区が3地区あるため、委員候補者の育成、民生委員活動の周知が必要である。
担当課	福祉課	R4事業費(千円)		3,957			今後の施策展開の方向性	民生委員活動のPRを含め、まちづくりと協働で地域の人材育成を行い、民生委員候補者の育成を図るとともに、担当区域などの見直しも検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
相談件数	回	1,195	/	/	/	1,600		

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業						解決した課題	前年度作成した名簿活用フローやマニュアルを用い、行政区囁託員会議、民生委員・児童委員協議会で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。						残された課題	新型コロナウイルスの影響で各地域での会議が開催されず、説明の機会が少なかった。行政区囁託員や民生委員に個別に働きかけるなど取り組み推進の工夫が必要である。
担当課	福祉課	R4事業費(千円)		1,630			今後の施策展開の方向性	各地域へ地域版防災計画の作成を積極的に推進し、要支援者に対して円滑かつ迅速な救助や支援ができるよう体制を構築する。また、地域版防災計画を定期的に見直す仕組みづくりが必要である。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合	%	44.8	/	/	/	55		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費(千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	B
施策の体系(柱)	1	計画的な土地利用の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然景観と調和したまちづくり推進 ・ 計画的な土地利用推進 ・ 都市計画マスタープランと大津都市計画区域マスタープランの整合 ・ 立地適正化計画策定
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画マスタープランの作成 ・ 用途地域等の見直し

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	都市計画審議会	都市計画区域内における特定の民間施設等の建設に関して、都市計画上の支障の有無を審議するもの	31	都市計画課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0	1		
合計点数	0	75	0	0	75	75	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	都市計画審議会						解決した課題	都市計画上はもとより、地域住民・事業者視点でも配慮のある、有意義な審議を行うことができた。
事業概要	都市計画区域内における特定の民間施設等の建設に関して、都市計画上の支障の有無を審議するもの						残された課題	今後、施設の建設及び稼働等において、地域住民とのトラブルが生じないように、注視していく必要がある。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		31			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
都市計画審議会	回	1	/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	B
施策の体系(柱)	2	南部・北部まちづくり計画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 道路網や拠点等の整備検討 賑わいを生む町並みと動線づくり（南部） 地域の交流拠点づくり（北部）
想定する事業の成果	町民が交流する場を創出することにより、施設の有効活用及び生きがいがづくりに寄与する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	生涯学習施設運営費	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。	14,863	生涯学習課	B	●
2	観光振興事業（再掲）	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。	11,193	商業観光課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	生涯学習施設運営費						解決した課題	応急的な修理を行い、適切な管理運営を行った。
事業概要	町民のふれあい、生涯学習、文化活動、サークル活動の場とし、町民をはじめ町内外の利用者が、低料金で利用できる施設として適切な管理運営を実施する。						残された課題	施設の老朽化が進み、修理・補修の費用が増大する可能性がある。
担当課	生涯学習課	R4事業費 (千円)		14,863			今後の施策展開の方向性	安全管理を徹底するとともに、利用者ニーズを把握することで、誰もが気持ちよく利用できるような施設管理に努めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
利用者数	人	21,208	/	/	/	23,000		

事業名	観光振興事業（再掲）						解決した課題	観光協会で観光情報の発信やホームページのリニューアル、ふるさと納税返礼品の準備ができた
事業概要	地域の特性を活かした観光振興により、地域経済の活性化を図る。						残された課題	持続可能な事業展開を図るため、体験型観光の創出やスポーツコンベンションの推進、ふるさと納税返礼品の開発などを進めていく必要がある
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		11,193			今後の施策展開の方向性	肥後おおづスポーツ文化コミッションと連携しながら、体験型観光の創出、スポーツコンベンションの推進など、経済効果につながる事業を展開し、地域の活性化を図る
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
観光客入込客数	人	2,173,545	/	/	/	1,600,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	1	土地利用政策の推進	A
施策の体系(柱)	3	新たな活力拠点の創出	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備と一体となった工業団地、物流団地、宅地開発の推進 ・肥後大津駅周辺における賑わいを生む空間整備 ・空港ライナーからの誘客促進 ・スポーツの森駅（仮称）を中心とした新たなエリア開発検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「大空港構想Next Stage」との連携のもと、肥後大津駅周辺においてハード・ソフト事業を実施することによる駅南口及び周辺商店街の活性化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	空港関係事業（空港ライナー関係）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,010	総合政策課	B	●
2	地方創生事業（再掲）	肥後大津駅周辺地域活性化事業に取り組む実行委員会に補助金を交付し事業実施。企業版ふるさと納税のPR、柔軟かつ最大限に寄附金を活用できるような基金を創設。	8,156	総合政策課	A	
3	工業団地整備事業（再掲）	企業進出の受け皿となる工業用地を確保するため、新たに工業団地を整備する。	3,145	企業振興課	A	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	1	0	0			
合計点数	200	75	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）						解決した課題	阿蘇くまもと空港およびその利用者の利便性向上に寄与している。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。						残された課題	空港ライナーを継続させるため、空港ライナーをPRして更に定着させていくかが課題。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		5,010 千円			今後の施策展開の方向性	空港は、令和3年度から完全に民営化したため、今後は各団体と協力しながら空港ライナーの継続、PRの強化に努めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
空港ライナーの利用者数/年	人	102,862	/	/	/	130,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	A
施策の体系(柱)	1	公園の整備	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインによる大型複合遊具新設や休憩施設改修 さらなる魅力化と費用効率化に向けた維持・管理推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した公園の改修 公園施設の修繕・清掃・植栽の維持管理による公園の安全性の確保

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公園施設長寿命計画対策支援事業	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。	53,807	都市計画課	A	●
2	町立公園等管理委託事業	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。	94,895	都市計画課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		
合計点数	200	0	0	0	200	100	A

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	町立公園等管理委託事業						解決した課題	老朽化した高尾野公園屋外トイレ（改築1棟）及び昭和園の四阿（改築1棟）の改築を行った。
事業概要	公園の利用者が安全に利用できるよう、施設の修繕、清掃、植栽等の維持管理を行う。						残された課題	公園施設長寿命化計画前期の5年間に行うべき事業の実施と後期5か年の実施計画を策定する必要がある。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		94,895			今後の施策展開の方向性	平成29年度に策定した公園施設長寿命化計画を後期5か年の計画を策定にあたり、施設の健全度や利用状況等を踏まえ、優先度の整理を行い実行に移したい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公園に対する満足度	%/年	39.7	/	/	/	40		

事業名	公園施設長寿命計画対策支援事業						解決した課題	年間の計画的な公園管理の他、突発的なトイレの不具合や危険箇所の修繕等を行った。
事業概要	老朽化した公園施設を長寿命化計画に基づき整備する。						残された課題	公園施設の老朽化等による管理を計画的に行う必要がある。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		53,807			今後の施策展開の方向性	利用者が快適に公園を利用できるよう、公園施設長寿命化計画を柱に改修等を行い、効率よく管理ができるようにしたい。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公園に対する満足度	%/年	39.7	/	/	/	40		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	2	下水道の維持的経営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増等に伴う施設の能力強化、未整備地区の整備 ・ストックマネジメント調査、点検、改築・更新 ・経営健全化に向けた使用料の体系見直し ・農業集落排水処理施設の施設合理化検討 ・住宅用合併処理浄化槽への設置補助
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況に応じた公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備及び維持・管理 ・下水道や農業集落排水施設等、複数の汚水処理施設が共同で利用できる施設整備の検討 ・財政状況の健全化に向けた適切な使用料の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共下水道事業（営業費用・建設改良費）	公共下水道の事務を行うための事務費	69,770	下水道課	A	
2	公共下水道費出資金・補助金（基準内・基準外）	一般会計から公共下水道事業会計への出資金・補助金	197,101	下水道課	B	
3	公共下水道事業（事業費：管渠）	公共下水道事業により、各家庭へ下水道の整備を行い、排出される汚水の処理を行う。	90,767	下水道課	A	
4	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める。	422,473	下水道課	A	●
5	公共下水道事業（維持管理費）	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	208,890	下水道課	A	●
6	農業集落排水事業（営業費用・建設改良費）	農業集落排水事業の事務を行うための事務費	9,746	下水道課	A	
7	農業集落排水費出資金・補助金(基準内、基準外)	一般会計からの農業集落排水事業会計への出資金・補助金	112,907	下水道課	B	
8	農業集落排水事業（維持管理費）	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。	31,185	下水道課	A	●
9	合併処理浄化槽設置事業	公共・農集の計画区域外及び平成28年の熊本地震により被災した公共下水道区域内で未整備地区の専用住宅について、合併処理浄化槽設置費の一部を補助する。	3,734	下水道課	A	
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	7	2	0	0	9		
合計点数	700	150	0	0	850	94.4	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共下水道事業（事業費：処理場・ポンプ場）						解決した課題	大津町浄化センターの水処理3系目を増設したことで、流入量の増加の中においても安定した機器運転ができ、水質汚濁防止法の規定を遵守できた。
事業概要	公共下水道事業により、下水処理場及び汚水中継ポンプ場を整備し、排出される汚水の処理を行い、公共用水域の水質保全に努める、						残された課題	供用開始後30年以上が経過し、更新対象施設が多数残っている。財政面を含めた中長期的な計画が必要となる。
担当課	下水道課	R4事業費 (千円)		422,473			今後の施策展開の方向性	各施設の中長期的なストックマネジメント計画を策定し、処理場・ポンプ場等の長寿命化を図りながら、今後見込まれる人口増に対応した施設の増設を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
要求水準書の放流水BOD値	mg/l	12	/	/	/	12		

事業名	公共下水道事業（維持管理費）						解決した課題	包括的民間委託の継続により、大津町浄化センター・汚水中継ポンプ場の維持管理を行うことで、臨機応変な対応が可能となり、放流水質の要求水準等を遵守できた。
事業概要	下水処理場、汚水中継ポンプ場等の適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	流入量の増加に伴い、管理費用の増加も見込まれることから、より効率的な維持管理が求められる。
担当課	下水道課	R4事業費 (千円)		208,890			今後の施策展開の方向性	流入水質悪化防止のため引き続き事業所排水等の指導を継続し、年間を通して安定した処理を維持できるよう、委託事業者と協力して維持管理に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
要求水準書の放流水BOD値	mg/l	12	/	/	/	12		

事業名	農業集落排水事業（維持管理費）						解決した課題	各浄化センターにおける放流水質のBODが、水質汚濁防止法の排水基準を遵守した。
事業概要	3地区の処理場及びマンホールポンプの適正な維持管理・保守を行い、公共用水域の水質保全に努める。						残された課題	維持管理費の削減に向けて、農業集落排水処理施設の集約、公共下水道との統合について検討する必要がある。
担当課	下水道課	R4事業費 (千円)		31,185			今後の施策展開の方向性	各施設の稼働状況等を注視し、適切な維持管理とともに、費用の削減に努める。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
実績排水BOD値	mg/l	2.1	/	/	/	15		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	2	快適な住環境の確保	
施策の体系(柱)	3	良質な住環境の確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能で良質な公営住宅運用に向けた更新の実施 ・ 建替、団地の統廃合、公営住宅跡地活用の検討 ・ 空き家の発生抑制に向けた情報提供・意識啓発 ・ 「空き家バンク制度」の活用、除却への支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉計画、復旧・復興計画との連携による公営住宅の検討 ・ 空き家・空き地調査と改善・活用の検討

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	町営住宅管理事業	町営住宅を管理・運営するために必要な業務を行う ・ 入退去管理 ・ 使用料（家賃）の収納など	2,841	都市計画課	A	
2	町営住宅修繕事業	町営住宅の修繕等を行うために必要な業務を行う	48,210	都市計画課	A	
3	あけぼの団地改修事業	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。	141,308	都市計画課	A	●
4	既存住宅解体事業	入居者退去後の住宅を解体・撤去し、跡地を整地する。	1,584	都市計画課	A	●
5	公営住宅等長寿命化計画	大津町公営住宅等長寿命化計画を策定し、長寿命化を図る住宅等の事業手法を判別して、維持管理、改善事業を実施する。	5,984	都市計画課	B	●
6	耐震改修補助事業	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	4,350	都市計画課	A	●
7	地盤改良補助金事業	再建費用のうち、地盤改良等の1/2又は上限20万円の安い方を助成する。	600	都市計画課	A	
8	空家等対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津町空き家バンク制度 ・ 老朽危険空家等除却促進事業補助金 ・ 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円） 	1,076	総合政策課	B	●
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	2	0	0			
合計点数	600	150	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	あけぼの団地改修事業						解決した課題	・予定通り外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消など大規模改修を行うことができた。
事業概要	外壁、屋根、電気、ガス、水道、生活排水などの補強及び改修また段差解消などユニバーサルデザインの整備を行う。						残された課題	・コロナ感染症や資材の入手、人手の確保などが困難な状況もあり、工期が以前より長くなり、年間1棟しか改修できない状況である。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		141,308			今後の施策展開の方向性	・令和4年度公営住宅等長寿命化計画改定に伴い、今後の大規模改修等の方針をもとに整備を進めていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
改修棟数	棟	1	/	/	/	3		

事業名	公営住宅等長寿命化計画						解決した課題	見直しの必要性があった公営住宅の長寿命化計画を見直すことができた。
事業概要	大津町公営住宅等長寿命化計画を策定し、長寿命化を図る住宅等の事業手法を判別して、維持管理、改善事業を実施する。						残された課題	町全体の大きな枠組み、方向性が示されたので計画が実現できるように具体的な事業計画が必要となる。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		5,984			今後の施策展開の方向性	団地ごとに具体的な整備計画を作成し、公営住宅全体のバランスを考えながら効率よい管理ができるような整備を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業関連委託	件	1	/	/	/	8		

事業名	耐震改修補助事業						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断を行われた住民の方で改修設計工事まで至らない方に連絡してみると工事費の額が高額や工事業者が捕まらないなどの意見が寄せられた。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		4,350			今後の施策展開の方向性	申請率が上がるよう、広報活動を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
申請件数	件	8	/	/	/			

事業名	既存住宅解体事業						解決した課題	予定通り解体を行うことができた。
事業概要	入居者退去後の住宅を解体・撤去し、跡地を整地する。						残された課題	室東団地内にまだ2棟住宅が残り、維持管理が出来ていない住宅も見受けられる。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		1,584			今後の施策展開の方向性	入居者退去後、速やかに解体し撤去する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
解体軒数	軒	2	/	/	/	4		

事業名	空家等対策事業						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助金 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）						残された課題	空き家バンクへの登録物件を増やすこと。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		1,076			今後の施策展開の方向性	・空き家バンクへの登録促進。 ・危険老朽化空家の除却促進。 ・協議会に図りながら、今後の空家対策を検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	/	/	/	5		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	A
施策の体系(柱)	1	総合的な道路網の形成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞緩和、災害時機能も企図した道路網整備 ・ 中九州横断道路早期事業化や国道443号4車線化の働きかけ ・ 阿蘇くまもと空港への新道路整備検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路等が早期完成することで、渋滞の緩和につながる

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	計画的な幹線道路等の整備	県道改良及びバイパス計画事業	4,725	建設課	A	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	A
施策の体系(柱)	2	安全・安心な生活道路の形成	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 道路標示更新、生活道路の計画的整備 町中心部と南北の新設ルート検討、駅周辺への交通アクセス容易化 着実かつ持続可能な道路メンテナンス 農道等の作業道整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 通行車両や歩行者の安全性を確保し、町民の利便性が向上する。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	道路新設事業	狭小な生活道路の拡幅や通学路の歩道整備等を行うことで町民の利便性と安全を確保する	49,434	建設課	A	
2	道路ストック事業	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新	179,566	建設課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	道路ストック事業						解決した課題	橋梁点検28橋を実施。町内橋梁長寿命化計画策定完了。弘化橋他5橋の補修詳細設計完了。室工業団地幹線他5路線の舗装打替工事完了。杉水中谷線の交差点他工事実施。
事業概要	老朽化した橋梁、路面等の長寿命化のための整備補修及び更新						残された課題	
担当課	建設課	R4事業費 (千円)		179,566			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
橋梁詳細設計	橋	6	/	/	/	6		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	3	道路・交通ネットワークの充実	B
施策の体系(柱)	3	公共交通のネットワークの構築	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の快適な生活につながる地域公共交通計画の策定 ・ 乗合タクシーの利便性向上と中心市街地を回遊する移動手段導入 ・ 公共交通の必要性や利用促進に向けたプッシュ型の情報発信 ・ 肥後大津駅を中心とした公共交通機能強化検討
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の要衝としての重要性が増している肥後大津駅を中心とした、町内の公共交通の利便性の確保・強化

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共交通事業	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。	68,726	総合政策課	B	●
2	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。	5,010	総合政策課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点 数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	公共交通事業						解決した課題	持続可能な公共交通サービスの姿を示す「地域公共交通計画」の策定
事業概要	公共交通体系の検討や地域公共交通会議の運営。路線バスへの運行補助及び乗合タクシーの運行。						残された課題	まちなかエリアにおける公共交通の実現に向けた実施計画の作成
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		68,726			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
乗合タクシー利用者	人/年	10,897	/	/	/	13,145		

事業名	空港関係事業（空港ライナー関係）（再掲）						解決した課題	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減から徐々に回復。3月には新ターミナルビルの開業もあり、利用者数はコロナ禍前の水準に戻った。
事業概要	阿蘇くまもと空港と肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）を結ぶ「空港ライナー」について、県及び関係機関と共同運営。						残された課題	アフターコロナにおけるインバウンド需要やTSMC進出に伴う移動需要の拡大等が想定され、空港ライナー利用者の増加が見込まれる。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		5,010			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
空港ライナー利用者	人/年	102,862	/	/	/	130,000		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	1	潤い豊かな水と緑の保全	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな水資源を守る「水源涵養機能」を保持するための森林管理 河川の水質保全に向けた水質調査、町民との情報共有 田畑への湛水事業促進、県や関係機関と連携した水量維持と水質保全
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 河川水質調査の実施や家庭用雨水浸透ますの設置による生活に身近な水と緑の充実 環境の森など、植林した広葉樹の管理等による良好な水質保全

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	家庭用雨水浸透ます設置事業	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで	0	環境保全課	B	●
2	家庭用雨水貯留タンク設置事業	貯留容量200ℓ以上は1基あたり35,000円が上限。 貯留容量200ℓ未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。	79	環境保全課	B	●
3	環境の森事業	下草刈等により管理を行う	0	環境保全課	B	●
4	水質等分析調査事業	水質調査（河川水分析10項目、飲用水分析27項目）	248	環境保全課	B	●
5	漁業振興補助金	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。	390	商業観光課	B	●
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	5	0	0	5		
合計点数	0	375	0	0	375	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	漁業振興補助金						解決した課題	稚魚の放流体験や河川の清掃活動等により地域住民へ環境保全への理解を促すことが出来た。
事業概要	稚魚の放流や漁場の整備を行い環境保全活動を推進する。						残された課題	自然環境が大きく変わっており、自然繁殖は困難な状況である。
担当課	商業観光課	R4事業費 (千円)		390			今後の施策展開の方向性	今後も繁殖放流事業や河川環境整備等、河川の環境回復を図り自然豊かな川と共存できる生活づくりを支援する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
稚魚放流総量	kg	4,420	/	/	/	5,000		

事業名	水質等分析調査事業						解決した課題	水源地（真木、仮宿水源、日向川）の分析において、健康項目全て環境基準内であり、水源地として問題は無かった。
事業概要	水質調査（河川水分析10項目、飲用水分析27項目）						残された課題	河川の水質は、季節や状況等により基準を超える場合があり、引き続き注意していかねばならない。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		248			今後の施策展開の方向性	大腸菌群数は、気温、水温等の影響を受ける項目であり、今後の推移を見ていく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
BOD基準超過箇所	箇所	0	/	/	/	0		

事業名	家庭用雨水貯留タンク設置事業						解決した課題	補助制度について、広報・町HPで周知を行い、補助金申請者に対して補助を行った。
事業概要	貯留容量200%以上は1基あたり35,000円が上限。貯留容量200%未満は見積額の1/2以内とし1基あたり24,000円が上限。						残された課題	地下水保全に効果的な事業であるが、周知度が低いため設置が進まない状況である。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		79			今後の施策展開の方向性	上水道の節水や地下水量の保全是重要な役目を担っているため、町民への周知方法を再検討し、今後も継続していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	3	/	/	/	9		

事業名	環境の森事業						解決した課題	協定に基づく植林作業も順調に行われ、平成25年に植樹作業は完了している。
事業概要	下草刈等により管理を行う						残された課題	伐木適齢期までの下草刈等の管理作業
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		-			今後の施策展開の方向性	協定期間の継続により、引き続き山林の管理をお願いする。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	/	/	/	-		

事業名	家庭用雨水浸透ます設置事業						解決した課題	補助制度について、広報で周知をつた。
事業概要	1基あたり10,000円 設置数は上限4基まで						残された課題	住宅を新築するにあたっての周知が足りないため、開発協議などで周知していく必要がある。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		0			今後の施策展開の方向性	業者による宅地開発が進んでいるため、目標値までの申請は無いものの、地下水涵養のためにも継続して取り組む必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
設置数	基	0	/	/	/	12		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 A
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	
施策の体系(柱)	2	ライフサイクル全体を通じた資源循環の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用ごみの排出量削減 ・ゴミ処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発 ・資源物の集団回収に対する団体への助成
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・4Rの促進、ごみの分別の徹底、生ごみの排出抑制 ・日常の生活からごみを出さない意識を高めるための啓発等の対策 ・事業者に対する処理責任の原則や分別の徹底にかかる普及啓発の推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	グリーンリサイクル事業	家庭等から出される剪定くずや小枝等をチップ化し、緑地等に還元する。	1,256	環境保全課	A	
2	ごみ減量化資源化事業	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）	3,848	環境保全課	A	●
3	ごみ収集運搬業務委託事業	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬	96,784	環境保全課	A	●
4	し尿運搬運搬手数料補助費	補助金 10リットル⇒12円	11,215	環境保全課	B	
5	一般廃棄物処理事業	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成 ごみの分け方・出し方作成	39,317	環境保全課	A	●
6	菊池環境保全組合負担事業	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割10%、利用割90%）	185,278	環境保全課	A	●
7	菊池広域連合負担事業【し尿】	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金	40,247	環境保全課	A	●
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	1	0	0	7		
合計点数	600	75	0	0	675	96.43	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	菊池環境保全組合負担事業						解決した課題	菊池環境保全組合に対する負担金。管内2市2町で一般廃棄物を適正に処理することが出来た。
事業概要	一般廃棄物の処理業務に対する負担金（均等割10%、利用割90%）						残された課題	令和4年度中に菊池環境保全組合が解散し、菊池広域連合と統合されるため、この事業からの負担金は発生しないが、令和5年度以降は菊池広域連合への負担金が発生する。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		185,278			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
可燃ごみ量	t/年	7,817	/	/	/	8,418		

事業名	ごみ収集運搬業務委託事業						解決した課題	家庭から排出される一般廃棄物について、業務委託により適正に収集運搬することが出来た。
事業概要	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬						残された課題	分別が出来ておらず、ごみ一時保管所へ回収されずに残ったままのごみが多数見受けられる。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		96,784			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
ごみ収集運搬量	t/年	6,771	/	/	/	6,838		

事業名	菊池広域連合負担事業【し尿】						解決した課題	菊池広域連合（し尿処理）に対する負担金。管内2市2町でし尿・浄化槽汚泥を適正に処理することが出来た。
事業概要	し尿及び浄化槽汚泥の処理業務に対する負担金						残された課題	し尿汲み取り件数は減少が見込まれるが、今後も適正に処理を行って行かなければならない。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		40,247			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
し尿・浄化槽汚泥運搬量	千kl/年	5,180	/	/	/	5,255		

事業名	一般廃棄物処理事業						解決した課題	家庭から排出される一般廃棄物について、町指定ごみ袋やごみカレンダーを作成し、ごみ分別や減量化を図った。
事業概要	町指定ごみ袋の作成・販売 ごみカレンダー作成　ごみの分け方・出し方作成						残された課題	新環境工場建設費用を含め、ごみ処理費用が年々増えているため、ごみ分別を徹底しコスト削減を図る。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		39,317			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
年間ごみ量	t/年	8,872	/	/	/	9,645		

事業名	ごみ減量化資源化事業						解決した課題	各補助事業の実施により、ごみの減量化が図られたが、集団回収については新型コロナ関係の影響により、年度末は落ち込みが見られた。
事業概要	①再生資源集団回収団体への補助 ②生ごみ処理機購入補助 ③ごみ一時保管所整備補助 ④啓発活動（広報、ホームページ、説明会等）						残された課題	ごみ分別の推進等により、一人当たりのごみの排出量は抑制されているが、人口増加により全体量は増えている。ごみの分別の徹底と排出量削減に向けた取り組みが必要である。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		3,848			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
一人当たり年間ごみ排出量	kg/年	199	/	/	/	192		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	A
施策の体系(柱)	3	生活環境の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で取り組む美化作業等推進 ・ 狂犬病予防接種徹底、犬や猫等の飼い主マナー向上等啓発 ・ 公害防止や不法投棄撲滅に向けた、美化活動やモラル向上啓発
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で取り組む美化活動の推進とそれによるコミュニケーションの場づくりと環境改善意識の強化 ・ 環境保全協定の締結と遵守による環境に配慮した事業活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	スズメバチ駆除事業	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。	1,537	環境保全課	A	●
2	狂犬病予防事業	①未接種の方へ個別注射通知（2回） ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助（上限1万円）	1,236	環境保全課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	0	0	0	2		
合計点数	200	0	0	0	200	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	スズメバチ駆除事業						解決した課題	スズメバチの駆除について、迅速に対応することができ、大きな事故は発生しなかった。
事業概要	住宅地等の危険個所で、住民からスズメバチ駆除の相談があった場合、専門業者に駆除を依頼する。						残された課題	ハチの種類に関係なく連絡が入るため、対応する件数が増加している。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		1,537			今後の施策展開の方向性	状況に応じて職員が対応している部分（ハチの種類確認調査、巣の駆除）についても、業者への業務委託を検討し、より迅速で安全な駆除対応を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
3日以内の対応率	%	100	/	/	/	100		

事業名	狂犬病予防事業						解決した課題	狂犬病ワクチン集合注射の実施や、狂犬病ワクチン注射の周知を行い、前年以上の予防接種率を確保できた。
事業概要	①未接種の方へ個別注射通知（2回） ②避妊及び去勢手術費用の2分の1を補助（上限1万円）						残された課題	未登録の犬や狂犬病予防注射を受けていない飼い主への啓発を引き続き行う必要がある。
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		1,236			今後の施策展開の方向性	犬の散歩中にフンの後始末をしないなど、飼い主のマナーの悪さが目立つ。今後は広報でのお知らせ、看板設置など、啓発活動を続けていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
予防注射接種率	%	79.5	/	/	/	100		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	4	環境にやさしいまちづくり	A
施策の体系(柱)	4	温暖化対策の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー設備普及 町内公共設備の省エネルギー製品導入推進 メガソーラー設置における災害防止、情報共有、環境リスク抑制
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発 環境情報の提供や環境学習の推進により環境に配慮したライフスタイルの展開

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	新エネルギー等推進事業	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発	185	環境保全課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	新エネルギー等推進事業						解決した課題	民間開発によるメガソーラー開発が進んでおり、住民の不安の声が挙がっていたため、住民の安心安全な生活環境を守ることを目的とし、令和5年3月議会において【大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例】を議決、令和5年7月1日から施行した。
事業概要	再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギー活動の啓発							
担当課	環境保全課	R4事業費 (千円)		185			今後の施策展開の方向性	条例に基づき、住民の安心安全な生活環境を守ったうえで、再生可能エネルギーの普及を目指す。
	千円							
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
-	-	-	/	/	/	-		

事業名							解決した課題	
事業概要								
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要								
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要								
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要								
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	
施策の体系(柱)	1	地域防犯地策の強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪や事故に関する積極的な情報収集・提供 ・ 町内全域街灯・防犯灯のLED化 ・ 防犯教育や啓発活動、防犯パトロールによる地域防犯力強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察や関係団体との連携による地域防犯の取り組みを強化、活動支援、町民一人ひとりの防犯意識の高揚による安全性の向上 ・ 防犯灯の設置、地域ぐるみの防犯パトロールの継続による安全で住みよい地域づくり

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防犯対策事業	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業	12,351	防災交通課	B	●
2	防犯灯・街灯設置事業	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置	50,521	防災交通課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0			
合計点数	100	75	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	防犯灯・街灯設置事業						解決した課題	R3に南部地区、R4に北部・中部地区の防犯灯・街灯のLED化を実施。また、街灯設置補助金による地域内の街灯新設を実施。
事業概要	防犯灯・街灯電気代、防犯灯・街灯設置						残された課題	都市開発が進み、既存の行政区域外への住宅新設により、街灯が設置されていない地域がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		50,521			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	/	/	/	30		

事業名	防犯対策事業						解決した課題	青バトを更新し、小・中学生の登下校時に町内全域の防犯パトロールを実施。また、警察・防犯協会との協定に基づき防犯カメラの設置補助を実施。
事業概要	防犯パトロール業務委託、防犯カメラ設置事業						残された課題	犯罪が発生している状況から、防犯パトロールの強化及び防犯カメラ設置等の更なる防犯対策が必要。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		12,351			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の犯罪発生件数 (街頭犯罪・侵入犯罪等重点罪種の認知件数)	件	37	/	/	/	30		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	B
施策の体系(柱)	2	交通安全対策の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動への参加等交通安全施策推進 ・高齢ドライバーへの安全運転啓発、安心して免許返納できる環境整備 ・町内道路危険個所の総点検、維持・充実化 ・町民全体への交通安全教育や啓発の徹底
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・警察、交通安全協会、学校及び地域等との連携による、園児から高齢者まで対象に応じた交通安全教育や啓発活動の実施による安全意識の向上と安全性の確保 ・交通事故を防止するため、街路灯、カーブミラーの維持・整備を実施による安全な交通環境の確保 ・運転免許証を自主的に返納した高齢者に対する支援サービスの充実による高齢者による交通事故の抑制

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	交通安全施設整備	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理	21,298	防災交通課	B	●
2	交通安全教育、啓発事業	交通安全教室の開催、啓発活動	6,802	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	交通安全施設整備						解決した課題	老朽化したカーブミラーの修繕や設置及び交通安全プログラムの意見も取り入れて、通学路を重視した区画線等を設置することにより、事故防止に努めた。
事業概要	カーブミラー設置や区画線等の設置及び修理						残された課題	要望力所以外のカーブミラー及び通学路以外の区画線等についても継続した更新が必要である。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		21,298 千円			今後の施策展開の方向性	区長や交通委員からの継続した情報収集や要望により、優先順位に基づいた新設及び修繕を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93	/	/	/	50		
町内の交通事故死亡者数	件	0	/	/	/	0		

事業名	交通安全教育、啓発事業						解決した課題	交通安全運動をはじめとする啓発活動と学年に応じた交通安全教室を推進し交通事故防止に努めた。
事業概要	交通安全教室の開催、啓発活動						残された課題	交通事故発生件数が増加しており、更に交通安全啓発が必要。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		6,802 千円			今後の施策展開の方向性	小中学生は基より高齢者に対して継続した交通安全啓発運動の推進及び強化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
町内の交通事故発生件数 (人身交通事故数)	件	93	/	/	/	50		
町内の交通事故死亡者数	件	0	/	/	/	0		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	5	交通安全・防犯対策の強化	A
施策の体系(柱)	3	消費生活の安全強化	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費トラブルの発生情報発信、注意喚起、啓発 相談できる体制づくり、消費生活相談窓口設置推進 住民同士の声掛けや相談しあえる環境整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 町民自らが消費トラブルから身を守り、安心して生活する消費者となるよう支援する 消費トラブルに巻き込まれた町民に対して、的確に対応できる相談体制を整備する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	消費生活相談業務	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、啓発チラシを配布することにより注意喚起を行う。	1,835	総務課	A	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	0	0	0	1		A
合計点数	100	0	0	0	100	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	消費生活相談業務						解決した課題	消費生活相談窓口の広域化を行うことにより多くの相談に対応することができた。
事業概要	消費生活相談窓口を週2回設置し、消費トラブルに巻き込まれた町民からの相談に対応するとともに、啓発チラシを配布することにより注意喚起を行う。						残された課題	昨今の犯罪は多種多様化しており、予防が困難となっている。また、成年年齢の引き下げによる犯罪発生の未然防止が必要である。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		1,835			今後の施策展開の方向性	消費生活相談の広域連携体制による継続した相談業務の実施。 警察等の関係機関と情報共有を行いホームページや広報の活用及びチラシの配布による啓発活動を継続する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
消費生活相談件数	件	85	/	/	/	75		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	1	危機管理体制の充実	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での実践的な住民参加型防災訓練実施 ・ 民間事業者との「災害時応援協定」締結 ・ 「避難行動要支援者」の把握と支援体制強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員や町民一人ひとりの判断力と行動力を養い、地域による避難行動・安否確認・避難所運営を実施 ・ 「災害時応援協定」による災害時の効果的な連携・支援を実施 ・ 災害発生時に自力での避難が困難な人を支援するため、避難行動要支援者の把握と個別避難計画の作成

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。(防災訓練実行委員会負担金) 災害時応援協定の締結推進	208	防災交通課	B	●
2	災害時避難行動要支援者支援事業	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。	1,630	福祉課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	B

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害時避難行動要支援者支援事業						解決した課題	前年度作成した名簿活用フローやマニュアルを用い、行政区嘱託員会議、民生委員・児童委員協議会で要支援者名簿について説明し、名簿の活用や地域版防災計画の策定を推進した。
事業概要	大規模災害時における災害時避難行動要支援者の避難支援等を的確に行うために、避難支援体制や避難後のケアを適切に行う体制を整備する。						残された課題	新型コロナウイルスの影響で各地域での会議が開催されず、説明の機会が少なかった。行政区嘱託員や民生委員に個別に働きかけるなど取り組み推進の工夫が必要である。
担当課	福祉課	R4事業費 (千円)		1,630			今後の施策展開の方向性	各地域へ地域版防災計画の作成を積極的に推進し、要支援者に対して円滑かつ迅速な救助や支援ができるよう体制を構築する。また、地域版防災計画を定期的に見直す仕組みづくりが必要である。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時避難行動要支援者名簿記載情報の提供同意者割合	%	44.8	/	/	/	55		

事業名	災害対策事業						解決した課題	北部地域の住民参加型防災訓練（避難所運営訓練）を実施し、避難所運営のイメージを構築することができた。また、災害時応援協定を複数の企業等と締結することができた。
事業概要	防災訓練実行委員会が中心となった住民参加型防災訓練の実施。（防災訓練実行委員会負担金） 災害時応援協定の締結推進						残された課題	町全体の地域で避難所運営ができるようになるためには、更に詳細に訓練を実施する必要がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		208			今後の施策展開の方向性	全ての地域で住民参加型防災訓練を実施し、地域による避難所運営ができるよう、防災訓練の実施方法を検討する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
災害時応援協定締結件数	件	24	/	/	/	25		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	2	災害への対応力強化	

B

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内危険個所の正確な把握と計画的・段階的な改善 ・平時からの啓発。迅速な情報提供、防災行政無線難聴地域解消 ・各種システムなどを活用した災害時対応力強化 ・災害時の迅速な避難所開設、避難所の安全性や環境向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ハザードマップの作成・配布・周知の実施による住民自らの防災意識向上を図る ・防災行政無線及び公式LINE等を活用し、多くの住民に情報提供を実施 ・北部、中部、南部の地域の避難・応急対策活動を支えるための防災拠点の配置や地域に応じた機能の整備 ・避難所における生活環境を確保、備蓄食料のほか生活関連物資や避難所運営資機材の計画的な更新及び整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	防災基盤整備事業	防災行政無線の新型スピーカー改修、平川における河川監視カメラの増設等を実施	18,040	防災交通課	B	●
2	災害対策事業	ハザードマップ作成や備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。	19,366	防災交通課	B	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害対策事業						解決した課題	平川及び矢護川の町管理河川区間において、町独自に洪水浸水想定区域を作成し、想定される災害に備えることができた。
事業概要	ハザードマップ作成や備蓄食料購入等、災害対策の全般における事業を実施。						残された課題	ハザードマップを活用し、住民一人一人の更なる防災意識向上と、町の防災対応における資材等の確保が必要。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		19,366			今後の施策展開の方向性	ハザードマップを活用し、住民一人一人避難計画を呼びかける「マイタイムライン」の普及を図る。また、防災対応における必要な資材等を確保し、災害時の活用を想定した訓練等を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
備蓄食料の確保	食	48,000	/	/	/	60,000		

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	新型スピーカー導入により、防災行政無線の難聴地域の一部解消を図ることができた。河川監視カメラの増設により、平川の水位状況を確認することが可能となった。
事業概要	防災行政無線の新型スピーカー改修、平川における河川監視カメラの増設等を実施						残された課題	防災行政無線の難聴地域解消や多くの住民へ情報提供を実施するために、新たな情報提供手段を確保する必要がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		18,040			今後の施策展開の方向性	防災行政無線の整備を中心とし、その他新たな情報提供手段を確保し、多くの住民へ緊急時に速やかな情報提供を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
/	/	/	/	/	/	/		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	3	災害に強い都市構造	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断・耐震化推進、老朽空き家の調査・対策推進 雨水排水施設整備、豪雨を見越した防災・減災機能強化
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 大地震に備え、安心して住み続けられる「すまい」の確保をはかる。 局地的豪雨に耐えうる地域の整備

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	耐震改修補助事業	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。	4,350	都市計画課	A	●
2	ブロック塀撤去補助金	危険ブロック塀の撤去費の2/3又は上限20万円を助成する	433	都市計画課	A	
3	緊急自然災害防止対策事業	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する	33,256	建設課	A	●
4	防災・減災対策等強化事業	集中豪雨により一時的ではあるが、冠水などの影響を受ける地域の排水対策として調整池や水路整備等を行う	32,237	建設課	A	
5	空家等対策事業（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 大津町空き家バンク制度 老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円） 	1,076	総合政策課	B	●
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	4	1	0	0	5		
合計点数	400	75	0	0	475	95	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	緊急自然災害防止対策事業						解決した課題	東道免地区と後迫地区及び大津地区の詳細設計が完了した。
事業概要	県の急傾斜地指定を受けた斜面を安定勾配での切土法面処理等を行い、住民の安全を確保する						残された課題	令和5年度に用地測量、用地（寄附）取得、工事の一部完了を目指す。 大津地区において一部区間が起債事業対象外となるため、整備困難な箇所がある。
担当課	建設課	R4事業費 (千円)		33,256			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
急傾斜対策設計	箇所	3	/	/	/	3		

事業名	耐震改修補助事業						解決した課題	予定通りの広報活動、受付を行っており、補助体制は整っている。
事業概要	木造戸建て住宅における耐震化のため耐震設計、耐震改修、耐震シェルター工事、建て替え工事について助成を行う。						残された課題	耐震診断を行われた住民の方で改修設計工事まで至らない方に連絡してみると工事費の額が高額や工事業者が捕まらないなどの意見が寄せられた。
担当課	都市計画課	R4事業費 (千円)		4,350			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
申請件数	件	8	/	/	/	10		

事業名	空家等対策事業（再掲）						解決した課題	大津町空家等対策計画に基づき、空き家対策の推進を行った。
事業概要	・大津町空き家バンク制度 ・老朽危険空家等除却促進事業補助機 老朽危険空家等の除却に係る費用のうち、補助対象経費の2/3（上限50万円）						残された課題	空き家バンクへの登録物件を増やすこと。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		1,076			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
老朽危険空家等除却事業	件	2	/	/	/	5		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	B
施策の体系(柱)	4	消防・救急の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防と救急救命体制の充実 消防施設の適切な維持管理、機能の充実・強化 消防団の負担軽減と団員確保支援、消防力維持向上の体制整備
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 菊池広域連合消防本部の救急救命体制の充実 火災予防対策の消防施設の維持管理、機器の更新による火災の防止・被害の軽減 消防団活動が充実し、新規入団希望者の増加。 消防団を中心とした関係団体との連携や人材育成による地域消防力の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	常備消防費	菊池広域連合消防本部負担金	386,901	防災交通課	A	●
2	非常備消防費	消防団員報酬等の支給（R4から個人支給） 地域の消防団（分団等）活動における活動費として交付 金を交付	53,085	防災交通課	B	●
3	消防施設整備事業	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理	31,223	防災交通課	B	●
4	防災基盤整備事業	消防車両、小型ポンプ更新	12,122	防災交通課	A	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0			
合計点数	200	150	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	常備消防費						解決した課題	地域住民の安全安心なまちづくりの推進が図れた。
事業概要	菊池広域連合消防本部負担金						残された課題	一部事務組合すべてに言えることであるが、給与、昇格基準、旅費、消防機材の更新等、構成自治体が厳しく査定していく必要がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		386,901			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
建物火災全焼件数	件	1	/	/	/	0		

事業名	非常備消防費						解決した課題	消防団員報酬等の個人支給を実施。また、分団の円滑な運営のために、交付金を創設し交付を実施した。
事業概要	消防団員報酬等の支給 (R4 から個人支給) 地域の消防団 (分団等) 活動における活動費として交付金を交付						残された課題	新規消防団員の確保。災害時に消防団員の確保が難しい場合を想定して機能別消防団員制度を導入。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		53,085			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
機能別消防団員制度の導入		未実施	/	/	/	実施		

事業名	消防施設整備事業						解決した課題	火災現場で活用できる40mm関係資機材の導入を実施。また、消防防災施設の新設及び修繕を行い、充実強化を行った。
事業概要	消防団の所有する機材の維持管理、更新 防災行政無線の維持管理 消防防災施設の維持管理						残された課題	老朽化した施設及び資機材の更新。 水害等の災害に対応できる資機材の導入。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		31,223			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
建物火災全焼件数	件	1	/	/	/	0		

事業名	防災基盤整備事業						解決した課題	消防積載車及び小型動力ポンプの購入。
事業概要	消防車両、小型ポンプ更新						残された課題	MT消防積載車が全体の40%を占めており、運転免許によっては運転できない消防団員がいる。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		12,122			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
消防積載車購入	台	2	/	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)					千円
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値	今後の施策展開の方向性	
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	4	「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち	施策評価 B
基本施策	6	消防・防災・救急体制の充実	
施策の体系(柱)	5	地域防災力の向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	・「自主防災組織」設立・機能強化、地域防災リーダー育成の取組支援
想定する事業の成果	・防災指導員や防災士連絡協議会との連携による、各地域の「自主防災組織」の立ち上げや地域防災リーダーの人材育成 ・日常における地域のつながりが災害時の円滑な活動、避難支援等に結ばれることから、地域ごとの避難訓練や福祉・教育等と連携した地域のつながりを形成する

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	災害対策事業	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。	4,556	防災交通課	B	●
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	1	0	0			
合計点数	0	75	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	災害対策事業						解決した課題	町総合防災訓練を中心に、防災訓練を実施される自主防災組織を増やすことができた。また、養成講座により11人の新たな防災士を養成することができた。
事業概要	自主防災組織への活動支援補助金、防災士連絡協議会の運営補助。新たな防災士を養成するための講座の実施。						残された課題	自主防災組織未設立の行政区に設立を推進する必要がある。
担当課	防災交通課	R4事業費 (千円)		4,556 千円			今後の施策展開の方向性	自主防災組織の設立を推進し、併せて防災訓練等の活動ができる組織が増加するよう、補助金及び活動保険等の支援を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
自主防災組織組織率	%	69	/	/	/	80		
自主防災組織防災訓練実施率	%	88	/	/	/	75		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価 B
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	1	町民と行政の連携推進に向けた情報発信	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの積極的な情報公開、事業過程の「見える化」推進 ・多様な媒体・手法による分かりやすい情報発信、まちづくり参加促進策 ・町民の声を生かすための取組実施、内容・発信の改善 ・課題解決や新たな価値創出に向けた協定の締結拡大 ・各種協議会などへの「当事者」選出推進 ・町議会でのICTを活用した議事進行、議会の見える化、充実・効率化 ・町民と議会が認識共有のための情報発信や理解促進への取組強化
想定する事業の成果	・県内の大学や企業等と連携・交流による行政サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	包括連携協定事業	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
2	自衛隊家族会補助事業	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。	0	総務課	A	●
3	広報発行事業	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。	9,337	総合政策課	A	●
4	議会運営事業	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。	91,355	議会事務局	B	●
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	2	0	0	4		B
合計点数	200	150	0	0	350	87.5	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	議会運営事業						解決した課題	ICT推進基本計画に基づく議会システムの活用（オンライン配信など）や、オンライン委員会開催のための態勢整備。
事業概要	定例会、臨時会、各常任委員会、各特別委員会などの町議会活動の運営及び議会の活性化や情報発信の取り組み。						残された課題	議員になりたい人を増やすため、また町民により関心を持ってもらうための議会活性化の取り組み。
担当課	議会事務局	R4事業費 (千円)		91,355			今後の施策展開の方向性	更なるICTの推進及び情報公開に努める。議員の定数・報酬・費用弁償などを検討し、議会改革に向けた整理を行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
傍聴者数	人	125	/	/	/	200		

事業名	広報発行事業						解決した課題	広報編さん委員会の運営改善など全庁での情報発信の意識付け強化を図った。日程や様式の見直しなど質の向上に取り組んだ。
事業概要	行政情報の提供のために毎月1回、町の情報紙「広報おおづ」を発行。						残された課題	広報おおづを含む全体の情報発信強化の検討。他媒体と連携した方法の検討。用語の統一など伝わる表現の検討。編集業務の委託。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		9,337			今後の施策展開の方向性	デジタル化が進んでいることにより、ホームページを情報発信基盤とした、情報発信体制の構築および紙媒体である広報おおづの役割の検討が必要。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
毎月読む割合	%	62.9	/	/	/	72		

事業名	自衛隊家族会補助事業						解決した課題	コロナ禍で家族会の活動は縮小されたものの、協力関係は維持し、同会、自衛隊、町が一体となって募集業務を行ったことにより、入隊者を確保することができた。
事業概要	自衛隊家族会に対し補助金を交付して運営を支援することで、町、自衛隊、同会が一体となって自衛官募集業務に取り組むよう体制を整える。						残された課題	コロナ禍以前の連携体制の水準に戻していくことはもとより、より良い連携体制のあり方も模索する必要がある。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		0			今後の施策展開の方向性	徐々に家族会の活動が活発化することが見込まれるため、的確な支援を行うとともに、引き続き、同会、自衛隊、町に加え、募集相談員とも連携体制を整え、入隊者の確保につなげる。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
入隊者数	人	11	/	/	/	10		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価 B
基本施策	1	まちづくり参画と行政との連携	
施策の体系(柱)	2	地域コミュニティの活性化支援	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支え合う仕組みづくりの在り方検討、推進 ・ 持続可能な地域活動推進に向けた、助成や人材育成支援 ・ 各種支援制度の情報発信・周知促進 ・ 地区担当職員制度を生かした連携、要望や課題抽出による支援充実 ・ 自治会同士の好事例共有化、連携推進・支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げ、地域住民が自ら取り組む地域づくりの推進 ・ 次世代の天津町のまちづくりやを担う人材発掘や育成 ・ 地区担当職員及び地域代表職員の配置によって地域と町の協力関係を強化し、地域の共助と活性化を推進

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	東熊本青年会議所助成事業	東熊本青年会議所の活動のうち、地域貢献に関するものに対する補助金を交付し、同団体の活動を通じて、住民と町の連携を推進していく。	140	総務課	B	●
2	区長会助成事業	天津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する	0	総務課	A	●
3	地域づくり活動支援事業補助金	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。	4,000	総合政策課	A	●
4	まちづくり担い手育成事業補助金	次代の天津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体が行う研修等の経費に対し補助金を交付する。	49	総合政策課	B	●
5	元気大津づくり活動事業 （「水水」ポイント）	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気大津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。	836	総合政策課	B	●
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	2	3	0	0			
合計点数	200	225	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	地域づくり活動支援事業補助金						解決した課題	R4から新型コロナウイルス感染症拡大抑制に資する物品の購入分を廃止したが、コロナ前の申請数に戻つつある。
事業概要	地域の住民同士の顔が見える関係を築いて、地域の一体感や日常生活での安心感を作り上げるために、地域住民が自ら取り組む地域づくり活動に対して補助金を支援する。						残された課題	地区によっては人口減、高齢化などにより事業実施が困難であり、取り組みに地域差がある。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		4,000			今後の施策展開の方向性	地区担当職員を通じ補助制度のPRに努め、地域活動の活性化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
事業実施団体	地区	28	/	/	/	35		

事業名	元気大津づくり活動事業（「水水」ポイント）						解決した課題	平成30年度の制度改正以降、実活動人数は増加傾向にある。
事業概要	町民が自発的な意思に基づき、地域社会に貢献する目的を持って行う「元気大津づくり活動」に対し、水水ポイントを付与し、活動を促進する。						残された課題	活動実績のない登録者への継続確認。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		836			今後の施策展開の方向性	健康ポイント事業や他のボランティア活動補助金との調整を図り、制度の見直しを行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
活動登録者数	人	1289	/	/	/	1500		

事業名	東熊本青年会議所助成事業						解決した課題	依然としてコロナ禍ではあったが、徐々に活動の活発化がみられ、青少年育成や自助防災力向上を通じた地域活性化に取り組む同団体の支援ができた。
事業概要	東熊本青年会議所の活動のうち、地域貢献に関するものに対する補助金を交付し、同団体の活動を通じて、住民と町の連携を推進していく。						残された課題	同団体の目標である「個人の資質向上」に対して補助金を活用することがないよう、地域活性化に対する取組について補助することを明確にする必要がある。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		140			今後の施策展開の方向性	団体育成ではなく、地域活性化に寄与する取組に対して補助を行うことが本事業の目的であるため、他の地域づくり団体との平等性に配慮して交付を検討していく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
地域活動数	回	3	/	/	/	3		

事業名	まちづくり担い手育成事業補助金						解決した課題	平成30年度の制度開始以来、延べ14件の申請があり人材育成に寄与している。
事業概要	次代の大津町のまちづくりの担い手となる人材を育成するために、団体が行う研修等の経費に対し補助金を交付する。						残された課題	コロナウイルス感染症の影響により昨年度の申請は0件。制度を周知し、より多くの団体に活用してもらう。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		49			今後の施策展開の方向性	制度の周知を図り、利用しやすい制度となるよう継続して見直しに取り組む。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
制度利用申請数	件	0	/	/	/	5		

事業名	区長会助成事業						解決した課題	区長を対象としたアンケートで浮き彫りとなった役場との関係について、相談対応カードを導入することで、連携体制の不備に対する解決を図った。
事業概要	大津町区長会に補助金を交付することで、同会の活動を支援し、地域の共助や活性化を推進するとともに、地域と町の協力関係を強化する						残された課題	先進地研修など充実した研修を行わなければ、地域課題解決に取り組む区長の支援が不十分になる。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		0			今後の施策展開の方向性	同団体と連携し、また支援を通じてアフターコロナにおける、地域づくり・人づくりを推進し、地域活性化を図っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修回数	回	1	/	/	/	2		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価 A
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	1	効率的・効果的な行財政の運営	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画に基づく施設の運営コスト削減や平準化 民間資本やノウハウ導入による官民連携推進 健全な財政維持に向けた課税・徴収・処分、啓発による税の関心向上
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 中長期的な視点による公共施設の適正管理や財政需要の増加を踏まえた事業の見直しによる財源の確保 指定管理者制度やPFI等を検討し、より効率的な施設運営の実施 課税対象者の把握と適正・公平な課税及び滞納者の早期把握による徴収率の向上と厳正な滞納処分

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	公共施設等総合管理計画	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。	4,300	財政課	B	●
2	財産管理費	庁舎、公用車、普通財産等の適正管理を行う。	116,078	財政課	B	
3	町税の徴収事務	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を適時に実施する。	3,547	税務課	A	●
4	軽自動車税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（4月1日）現在において、町内に主たる定置場のある軽自動車等の所有者又は使用者に対して課税し納税通知書を発送する。	3,752	税務課	A	
5	固定資産税課税事務	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。	117,835	税務課	A	●
6	個人町民税及び法人町民税課税事務	個人町民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。	27,507	税務課	A	●
7	会計管理事業	大津町各会計及び基金出納事務を行う。	10,085	会計課	A	
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	5	2	0	0	7		A
合計点数	500	150	0	0	650	92.86	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	固定資産税課税事務						解決した課題	住宅用地の特例誤りによる還付業務があった中、スケジュール的にタイトになったが、登記の異動入力、家屋評価、現地調査など適正な評価及び課税処理を行うことができた。
事業概要	地方税法に基づき、賦課期日（1月1日）における固定資産（土地・家屋・償却資産）について、適正な評価を行い賦課し、納税通知書を発送する。						残された課題	TSMCの進出に伴い、町内での開発が進んでおり、特に住居系の開発が多いため、令和6年度の評価替がある中で、暫くは土地の現況調査及び新築の家屋評価が増える見込みである。
担当課	税務課	R4事業費 (千円)		117,835			今後の施策展開の方向性	事務の効率化を図りチェック体制を整えて、公平公正かつ正確な賦課業務を実施する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
調定額 (現年)	千円	3,087,079	/	/	/	-		

事業名	個人町民税及び法人町民税課税事務						解決した課題	スケジュールに沿って、住民税申告（確定申告）業務から賦課業務に円滑な事務が実施できた。
事業概要	個人町民税・法人町民税の課税に係る納税通知書・台帳等各種帳票類の作成、納税通知書等の印刷・封入・発送を行う。						残された課題	毎年実施される税制改正に対応するとともに、申告時期から賦課時期に係り、急激に事務量が増すため、外部委託等を積極的に利用する必要がある。
担当課	税務課	R4事業費 (千円)		27,507			今後の施策展開の方向性	税制改正に対応するとともに、公平公正と正確な賦課業務を実施するため、外部委託等を積極的に活用し、事務の煩雑化を防ぐ必要がある。令和7年度までに基幹システム（税務システム）の標準化への移行も併せて行っていく必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
調定額 (現年)	千円	2,186,754	/	/	/	-		

事業名	公共施設等総合管理計画						解決した課題	個別施設計画の見直しを実施し、不足部分の洗い出しができた。
事業概要	施設に係る運営コスト削減や改修費平準化を目指し、策定した計画を元に、施設マネジメントの効率化を図る。						残された課題	個別施設計画の不足部分を補填し、改めて総合管理計画を再設定する必要がある。
担当課	財政課	R4事業費 (千円)		4,300			今後の施策展開の方向性	個別施設計画を改正し、適切な状態で総合管理計画を更新する。更新した計画を元に施設マネジメントの効率化を図る。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
公共施設等総合管理計画の更新		個別施設計画の見直し	/	/	/	R5更新		

事業名	町税の徴収事務						解決した課題	町税収納率としては目標を上回っている。
事業概要	賦課された町税（個人町民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の徴収率の向上を図るために必要な諸施策（滞納処分業務）を適時に実施する。						残された課題	令和5年度から、共通納税の対象税目拡大により、二次元バーコードを使用したオンライン決済が可能となるため、支払いチャネルの選択肢が増える。一方で、口座振替は収納手数料が比較的低額であり、確実な納期内納付が期待できるため、口座振替の推奨、手続きの簡素化を図り、口座振替率の向上を進める必要がある。
担当課	税務課	R4事業費 (千円)		3,547			今後の施策展開の方向性	現年度対策の重点的な取り組みが一定の効果を上げているので、継続して行う。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
徴収率 (現年度)	%	99.31	/	/	/	99.1		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	2	職員の人材育成・人材確保	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な研修の効果的な実施 ・各種支援制度等の効果的運用による自発的な取組推進 ・人事交流を通じた多面的な人材育成 ・適正な目標設定と人事評価による指導・業務管理合理化 ・希望・適正にも配慮した配置による職員能力の発揮 ・組織力向上に向けた管理職のマネジメント力強化 ・行政課題やサービスを見込んだ職員採用計画に基づいた人材確保
想定する事業の成果	効果的な職員研修の実施、各種研修への参加、人事交流等により職員の人材育成を進めるとともに、有為な人材を採用、確保しながら組織力を向上させることで適正な事務の執行及び住民サービスの向上を図る。

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	職員研修事業	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。	4,336	総務課	A	●
2	会計年度任用職員雇用事業	常勤職員の補助的業務や臨時的な業務を行うために、資格免許職、一般事務職などの会計年度任用職員を募集し、面接試験にて採用（任用）を行う。	79,824	総務課	A	
3	その他の人事秘書事業	職員にかかる健康診断や職員管理関係システム、表彰関係等の費用	22,666	総務課	A	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	3	0	0	0	3		A
合計点数	300	0	0	0	300	100	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	職員研修事業						解決した課題	コロナ禍であったが、人材育成基本方針に基づき、オンライン等も活用しながら計画的に職員研修を実施した。また、会計年度任用職員にも研修（接遇マナー）を実施した。
事業概要	人材育成基本方針に基づき、各種職員研修を計画的に開催するとともに自己申告研修や研修機関への派遣等により職員の意識改革や能力向上を図る。						残された課題	令和4年度から職員の資格取得助成制度及び職員グループに対するチャレンジ・グループ補助制度を導入したが、活発な活用とはならなかった。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		4,336			千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修の参加人数	人	735	/	/	/	500		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					千円	今後の施策展開の方向性
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	
施策の体系(柱)	3	業務効率化とサービスの向上	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力活用、業務効率化、サービス品質向上 ・自治体システム共通化・標準化 ・「自治体DX推進計画」の重点事項への取り組み ・「大津町DX推進計画」の策定、推進 ・地域のデジタル化、使い方研修等による支援
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体システム標準化・共通化の円滑な移行 ・大津町DX推進計画の策定 ・DXを始めとした業務改善による業務効率化、住民サービスの向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。 (6事業2,745千円)	2,745 各課にて計上	総合政策課	B	
2	業務量調査事業	業務量調査の業務委託により、効果的・効率的な業務遂行を妨げている課題・問題点や各課における適正な職員数を分析し、住民サービスの向上や業務効率化に繋げる。	7,337	総務課	A	●
3	DX推進計画策定事業	国の自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、大津町のDX推進計画を策定する	0	総合政策課	A	●
4	総合行政システム事業	町基幹業務を電算化した「総合行政システム」を運用。事務処理時間の短縮や住民サービス向上に寄与。	88,323	総合政策課	A	
5	地域情報化整備事業	ネットワーク環境をはじめ情報基盤を整備し、業務効率化や情報セキュリティの強化のための基盤を整備する。	36,178	総合政策課	A	
6	コンビニ交付事業	住民票、印鑑証明、税証明書などの各種証明書のコンビニ交付サービス	4,368	住民課	A	
7	住民基本台帳ネットワークシステム整備事業	地方公共団体のネットワーク化による行政事務の効率化	13,997	住民課	A	
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	6	1	0	0	7	96.4	A
合計点数	600	75	0	0	675		

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	業務量調査事業						解決した課題	業務量調査の結果、「課題や問題点の分析」、「業務改善策の提案」、「組織別の問題・課題・改善方法」などが示され、職員定数を219人から242人に改正した。
事業概要	業務量調査の業務委託により、効果的・効率的な業務遂行を妨げている課題・問題点や各課における適正な職員数を分析し、住民サービスの向上や業務効率化に繋げる。						残された課題	業務改善に向けた具体的な推進方法。
担当課	総務課	R4事業費 (千円)		7,337 千円			今後の施策展開の方向性	調査結果をもとに、職員の業務改善に対する意識を高めながら、全庁的に推進する体制作りを行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
—	—	—	—	—	—	—		

事業名	DX推進計画策定事業						解決した課題	3月に「大津町DX推進計画」を策定。基本計画とアクションプランを定め、DX推進のための指針ができた。
事業概要	国の自治体DX推進計画やデジタル田園都市国家構想に基づき、大津町のDX推進計画を策定する						残された課題	施策の磨き上げ、業務改善につながる施策の検討。更なる全庁的な取組の推進。
担当課	総合政策課	R4事業費 (千円)		0 千円			今後の施策展開の方向性	部署間を超えた連携事業をワーキンググループなどで検討しながら、それぞれでデジタルを活用した業務改善を進めることができるよう機運醸成を行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
—	—	—	—	—	—	—		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価
基本施策	2	健全な行財政の運営	B
施策の体系(柱)	4	広域行政の推進・多様な主体との連携	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的行政課題の改善に向けた連携・協力体制強化 ・ 「熊本連携中枢都市圏」を通じた圏域の活性化、事業合理化 ・ 地域課題の解決に向けた、包括連携協定による調査・研究、事業実施
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域で取り組むことによる、行政サービスの効率性・効果性の向上

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	熊本連携中枢都市圏連携事業 (再掲)	熊本市及び周辺市町村において「熊本連携中枢都市圏」を形成し、事業を連携させながら圏域の活性化を図る。 (6事業2,745千円)	2,745 各課にて計上	総合政策課	B	
2	包括連携協定事業 (再掲)	各団体と協定を結び、地域課題についての調査・研究において相互協力を行う。	0	総合政策課	B	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	0	2	0	0	2		B
合計点数	0	150	0	0	150	75	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課			R4事業費 (千円)				今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
			/	/	/			

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち	施策評価 B
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	
施策の体系(柱)	1	人権が尊重される地域づくり	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会を通じた人権啓発活動推進 部落差別解消推進法を踏まえた人権啓発推進、町民への周知徹底 インターネットによる人権侵害防止の取組推進 人権啓発福祉センターにおける、より多様な人が参加できる活動展開 安心・安全・便利に参加できる新たな参加環境づくり 誰もが尊重される社会の実現に向けた取組推進
想定する事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、職場及び地域など、あらゆる機会を通じた人権啓発活動の実施 インターネットによる人権侵害について、学校や地域社会との連携による人権教育の実施 誰もが尊重される地域社会の実現に向けた取り組みの実施 人権啓発福祉センターや児童館を人権のまちづくりの拠点として地域や世代間交流を深め、広く多くの方に参加いただける活動の実施

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	人権啓発福祉センター運営費	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費	12,027	人権推進課	B	●
2	児童館運営費	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費	8,190	人権推進課	B	●
3	人権啓発福祉センター建物改修事業	人権啓発福祉センター（隣保館）の長寿命化のための改修事業	27,763	人権推進課	A	●
4	人権対策事業	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。	1,136	人権推進課	B	●
5	人権教育啓発事業	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。	7,043	人権推進課	B	●
6	大津町人権・同和教育推進協議会補助事業	「行政推進」「就学前・学校教育」「社会教育」「進路保障」の4部会で組織され、人権・同和教育推進大会や人権を考えるみんなのつどいを開催し、全町民を対象とした人権教育・啓発活動を推進する。	551	人権推進課	B	
7	団体活動助成事業	部落差別をはじめ様々な人権に関する問題が存在する中、行政と連携した啓発活動や人権のまちづくりに向けた人権運動団体に対して助成を行う。	1,500	人権推進課	B	
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	6	0	0	7		B
合計点数	100	450	0	0	550	78.57	

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	人権啓発福祉センター建物改修事業						解決した課題	昭和55年の建設から42年が経過し、老朽化が目立つ、建物の屋根や外壁等の改修が完了した。
事業概要	人権啓発福祉センター（隣保館）の長寿命化のための改修事業						残された課題	町の指定避難所にも指定されているため、災害時の停電対策（非常用発電機等）などを行う必要がある。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		27,763			今後の施策展開の方向性	令和4年度から5年度にかけての改修事業で、今年度内部（電機・機械設備等）の改修を行い、事業を終了する。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名	人権啓発福祉センター運営費						解決した課題	センター改修工事を行ったため、一時期一部の部屋が使用できないこともあったが、新型コロナウイルス感染症の影響も受けながらも若干ではあるが利用者も回復した。
事業概要	人権啓発福祉センター（隣保館）の運営費						残された課題	児童生徒、教員以外の一般の利用者が、近隣住民の方で、そのほとんどが高齢者であるため、新たな利用者を開拓する必要がある。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		12,027			今後の施策展開の方向性	補助事業の内容にもあるように、人権啓発事業はもちろんだが、地域福祉の向上を図るためにも、デイサービス事業なども取り入れる必要がある。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
隣保館来館者数（年間）	人	6,489				16,000		

事業名	児童館運営費						解決した課題	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者が減少していたが、徐々にではあるが、回復傾向にある。
事業概要	人権啓発福祉センター（児童館）の運営費						残された課題	地域住民の方は、もちろんだが、多くの町民の方に利用していただくよう、広報等で周知したい。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		8,190			今後の施策展開の方向性	利用者が喜んで使える玩具等の見直しをや、育児サークルの充実を図り、利用者が新鮮な気持ちで来館できるようにする。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		

事業名	人権教育啓発事業						解決した課題	人権に関する町民意識調査の結果をふまえ、大津町人権教育・啓発基本計画（改訂版）の策定を行った。また大会のインターネット配信を引き続き行い、幅広い啓発活動ができた。
事業概要	県や教育委員会等と連携し、学校における児童生徒向けの出前講座やまちづくり懇談会を実施しながら、次世代の人権尊重社会の実現のため、人権教育、啓発活動の推進を図る。						残された課題	各種大会は、参加者が固定化されつつある。これまで参加が見られていない住民等、町民の人権意識の向上につながるような啓発が求められる。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		7,043			今後の施策展開の方向性	人権問題の解消に向け、行政と教育が両輪となって継続した取り組みを行っていく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
学習会参加者数	人/年	875				1,200		

事業名	人権対策事業						解決した課題	町内の差別落書き事象を題材に、町職員へフィールドワークを行った。また、各種団体への学習会も行い、参加者への啓発を行った。
事業概要	地域や企業、各種団体など対象にした一般向け啓発活動を行う。また、各課等の町職員研修や部落差別等撤廃・人権擁護審議会委員等の会議や活動を通じて人権意識を高め、地域リーダーとしての育成を図る。						残された課題	部落差別をはじめとして、人権をめぐる環境は複雑化してきており、県内においても差別事象が頻発しているなど、継続した啓発が必要である。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		1,136			今後の施策展開の方向性	部落差別をはじめとする様々な人権問題についての研修会や学習会を重ね、人権問題への理解を深め、人権尊重の住みよいまちづくりを目指す。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
人権が尊重されていると感じる町民の割合	%/年	44.2				55		

<★施策シート>

■体系

施策の大綱	5	「町民活動・町政運営」 “つながり” と “安心” の持てるまち	施策評価
基本施策	3	人権を尊重する地域社会の形成	B
施策の体系(柱)	2	男女共同参画の推進	

1. 施策の目的 (PLAN)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 性別にかかわらず、個性と能力を発揮できるまちづくりの推進 男女共同参画に関する正しい情報に触れ、学ぶ機会の創出 あらゆる暴力の防止啓発活動、窓口明確化、相談・連携体制整備構築 働く意欲をもつ女性が能力と個性を発揮できるまちの実現に向けた取組 仕事と家庭の調和の実現に向けた啓発と環境整備推進
想定する事業の成果	男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会の実現

2. 目的達成に向けた実施事業 (DO)

ID	事業名	事業概要	R4事業費 (千円)	所管課	事業 評価	主要 事業
1	男女共同参画推進事業	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など	1,021	人権推進課	B	●
2	地域リーダー育成事業	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘	0	人権推進課	A	●
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

事業評価	A	B	C	D	合計	平均点	施策 評価
点数	100	75	50	25			
評価の個数	1	1	0	0			
合計点数	100	75	0	0			

平均点	施策評価
90点以上～	A
70点以上～90点未満	B
50点以上～70点未満	C
～50点未満	D

3. 主要な事業の状況

事業名	男女共同参画推進事業						解決した課題	感染症拡大の影響により啓発事業の実施が難しい状況が続いていたが、学校と連携しながら出前講座等を行い、児童生徒や保護者を対象とした啓発活動を実施することができた。
事業概要	各種研修会や講演会、出前講座等の実施、企業・関係団体との連携、啓発活動団体への支援、男女共同参画審議会の開催、人材バンク登録事業の推進など						残された課題	協力団体等との連携を図り、男女共同参画推進リーダーとなる人材の発掘や育成に積極的に取り組む。人材バンク登録の推進など。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		1,021			今後の施策展開の方向性	女性の社会参画を妨げる要因となる固定的役割分担意識や慣習を改めるため、家庭や地域、学校や職場などあらゆる分野で、幅広い世代との交流を通して意識啓発を継続していくことが必要。女性の活躍推進事業の充実。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識に同感しない人の割合	%	77.9	/	/	/	85.0		

事業名	地域リーダー育成事業						解決した課題	過去の研修生は推進リーダーとして、地域や職場、各種審議会などの幅広い分野で、自らの経験や知識を活かし、住民の助言者として活躍している。
事業概要	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修生を募集し、地域や職場などで活躍する人材の育成・発掘						残された課題	研修で得た知識や経験を成果に繋げるため、活躍の機会を与えることが必要。啓発活動への参加協力や人材バンク登録、各種審議会等への推薦など。
担当課	人権推進課	R4事業費 (千円)		0			今後の施策展開の方向性	令和4年度まで感染症拡大の影響により事業が実施されなかった。今後も町の男女共同参画推進地域リーダーとして、家庭や地域、職場などのあらゆる場面で活躍する人材の発掘、育成に取り組んでいく。
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
研修生の参加	人	-	/	/	/	2		

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			

事業名							解決した課題	
事業概要							残された課題	
担当課		R4事業費 (千円)					今後の施策展開の方向性	
目標指標 (KPI)	単位	R4	R5	R6	R7	目標値		
		/	/	/	/			